

頭書圖解
改正增補

河村與一郎編輯
十八史略字類大全

中

特32

301

館

函

架

虎

大日本教育會書籍館

	一		四
三册	五號	一架	一函

增補正 十八史略字類大全卷之四

山城 河村與一郎 編輯

東晉 江東二都入故

名論 世ノ譽ヲ撫綏新舊ノ新ハ中原ヨリ來ルモ微弱カシニ新

亭 今江寧府ノ南 中座 集會ナ 不殊 ルコトナキ 擧目有江

河之異 胡氏曰 言フ意洛都ノ遊宴多ク河濱ニ遊ヒシ地 已ニ夷

狄ノ陷リシ傷 神州 騶行云 中國名州 赤縣神州 曰

九州 是相視 見合ト目ス 作楚囚 楚ノ鐘儀晋國ニ序ツル処

ツヒキスベ 中夜聞 鷄聲 中夜ハヨナカニ非常ノ事アリト云ハレシ

揚祖 遊才モ 機至ク 世ニ非常ノ聲アリト云フ 不給

鎧杖 伏ハホコ 槍ノ類不 擊楫 楫ニハテシ 誓 後日ニ事ヲ

立ニテ言ヒ 清 乱ヲグツメ 濟有如此 江ノ生流テ 歸テ又此ガ水

改正 十八史略字類大全 卷之四 東晉 元帝

如シト云一説江ハ清二取ル中原ヲキヨメス再々露

此江ヲタラハ神罰ヲウケケニ其明白水ノコトシ

次野陣ヲ著鞭一番馳ルヲツケル一翼戴權略リテマニト

ハセヲ同甘苦同ハ安樂苦ハ難課農桑飼課ハ田作素ハ蠶

カスハタラ剪荆棘動乱平雍容テソル出統之ハイ快々

不克構隙中アルシク内難不遂成就總攝表ヲ上書推心

任之誠委任ヲスルハシシ緇縲之圖

レ書事タリ是群從子弟布列顯要ニ頭官要職ナリ時

シラハ凶狡祝彬二庶人ハ並二衛將中タリ腹心ノ親密見疎外シヨク

セラハ凶狡祝彬二庶人ハ並二衛將中タリ腹心ノ親密見疎外シヨク

ノ家ヲ屬申救其罪ヲ救フベテ繫肘後ゲルヲニサ

ヲ云ル百里之命君ノ政ヲ令ヲ攝石頭城今石頭山ニ批リ西ニア

故二吾不復云々君ニ叛キ兵ヲ舉ル罪金印如斗大貴頭官

十リ故料檢シハラ導不救王敦周顛ヲ執ヘテ生死ノ處置ヲ

二云ニ幽冥之間又人ヲ知ラ愕然ヲ不意ヲウタレ間者規諫ノ身

タメニナル布衣之交上下ノ交際際沮スルマ使郭璞云々

正言ヲ云ル規候ス鮮卑出鮮卑種亟ソグシイ我兄老婢耳

下敦ノ部規候ス鮮卑出鮮卑種亟ソグシイ我兄老婢耳

ナキヲ云世事去絶ハテノ望ミ作勢病中キバツテ困乏ツカ

レ身キク以大義滅親子君ノ為ニハ滅スルハ勿論父十世宥之

其身大功ユルサバ十世マ截ハナレハ左遷ガ官職トサ

テ死罪ヲユルサバ十世マ截ハナレハ左遷ガ官職トサ

茶勤行義精クルツサ陰ヒカ蒲博具ノ道具桴蒲博奕ノ器具

多クアリ好ム五木ヲ以テ之ヲ擲グ其采二籍籍ハ記也

黒犢アリ雉アリ盧ヲ得ルモノヲ勝トス綜理合セテ筋ヲ立

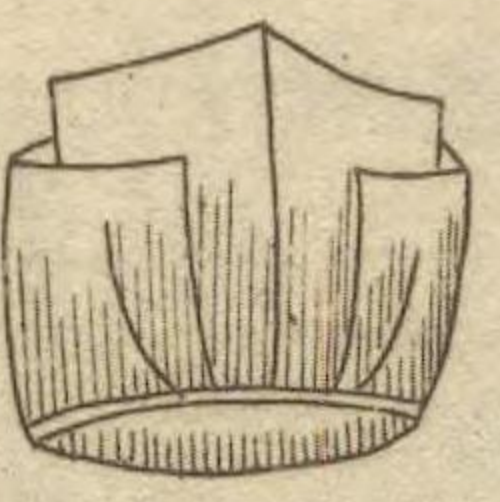
ルトメ竹頭木屑正會元日釘裝造綜理合セテ筋ヲ立

テヲサ微密心得ルノコマ犯闕禁内ヲセ威望名器精武類

改正一ノ各字頁ノ全

東晉 明帝 成帝

キタヒ 絶裾 母温嶠ノ裾ヲ牽トメテ其行ヲトスルハ方クヒキ
ルベ 太過 與韓彭比肩 韓信彭越ト並驅 コレヲナラベテカケル
未知 鹿云々 鹿二天 下二喻フ我手ニ帰スルヤ光 礪々落々
明白 ナ 皎然 ヲ白ク見 狐媚 ク野狐ノ人ヲ魅ス如 其意 料簡ノ頼
有此 耳 頼ハヤウクニト云 義張良ノ此 諫ヲ云 赫然 揚シテ
外ニ ア 見ラ 明教 事理ニ アキラカニセヒ 善斷 ノ物ノサバキ 祖
業先 祖ノ 清簡 清庶ニ シテ 事 冲幼 ナ冲モ幼 門地 カヨキ家 痴テキ
カノ キ 張目 メ目ヲ見 ツ 贊嘆 ヲホメソ 改容 畏マナホシ 休戚 ハ休
ハ 歡楽 戚苦 角巾 頭巾ノ 趨勢 者 躬ヲ從シ 願フテ 立ウチ 内不能 平内ハ心 中オナ
角巾之圖



マ功 二ニ ラタ ニニ マ功
リ勞 節ワ スヤ スヤ 二ニ
ア裨 ノタ ヲカ ヲカ 二ニ
ル益 アラ スル スル 二ニ
アアル スル スル 二ニ
儲教 ノタ 米穀 ハ 不重 帛三 世ノ 元明 三帝 亮
ハ 穀ハ 不重 帛三 世ノ 元明 三帝 亮

激之 得テ遂ニ 亮 嶮 峻 ヲスハメテ 大司 農トス 峻マシク 勢ヲ
成ス ワザナ 泥首 テ拜ス ツケ 外鎮 撫京外ノ鎮 自效 テ功ヲ立
償 識度 チ心モ 老易 周易ノ 風流 ヲ風ヲ学モ 流ノ 羅布 陣營ヲツ 規 例
ハヒ キアルテ 雄毅 武勇ノ 群ヲ將ス ヲ教ハ 進ムヲ 雄ト云セ 爾 謂テ 勤儉
ハハ 精ヲ出スル 儉 不尚 オシマハ アゲウ 浮華 テ表飾ノハ 才名 オイ
名 東バニク スルノ 夕 侯 居マツテ 擬引 アテ 卜興亡 ケ般浩 出テ 助
譽 東バニク スルノ 夕 侯 居マツテ 擬引 アテ 卜興亡 ケ般浩 出テ 助
ラ ン 退テ 助ケルノ 夕 國 當如 蒼生 何 般浩 モン 世ニ 出ズニ
家 亡ビテ 見ケム 一 國 當如 蒼生 何 般浩 モン 世ニ 出ズニ
テ 安カラシ 以王 夷甫 朝之 夷甫 八清 談ヲ善ス 凡世 凡世 二益
メ ン ト云シ 以王 夷甫 朝之 夷甫 八清 談ヲ善ス 凡世 凡世 二益
者 ナリト 言 豪爽 風采 キカ 氣 驟ナリ ハタラ 方召 之任 方方 絃
コ ナス ト 言 豪爽 風采 キカ 氣 驟ナリ ハタラ 方召 之任 方方 絃
名 ハ 召 伯 俱ニ 周宣 王ヲ 助ケテ 内仁 政ヲ 布キ 外征 伐ヲ 三
事 トシテ 中興 ヲ業 ヲヒ ヲケリ 任ハ ヤク メト云フ 一 勝地 ウエ
歳即位 二 三通 鑒ニ 英略 西任 西夏 ヲ攻メ 不臣 君ノ 叛云ク 勝地 ウエ
ガ イノ ヲ 并表 即行 シテ 上表 ノ勅 報スルヲ 待ス 朝野 朝ハ 民間 指期

可復フス時日ヲ限リ元ニカ
度德ハカ我手ト歎ラノ得
經營ケイ事ヲナ

一分表フン表ハ外ト云義ニ
伏甲フツ甲ハ兵ノ即チ
縱擊ジュウ出ツハナ

抗温コウ抗ハハスリ
不形辭色フシ言語顔色ニツレ
咄々怪事トク咄々ハ

答書コウケノ函ヲイクタヒ
達空函タク余空ヲ念スギテ誤ツ
絶交ケツ交ヲ

謫所タク配所撫論牛酒ウシ牛肉ト酒
迎勞ウイ温ヲサツ迎ヘルテア
倜儻チウケモテ

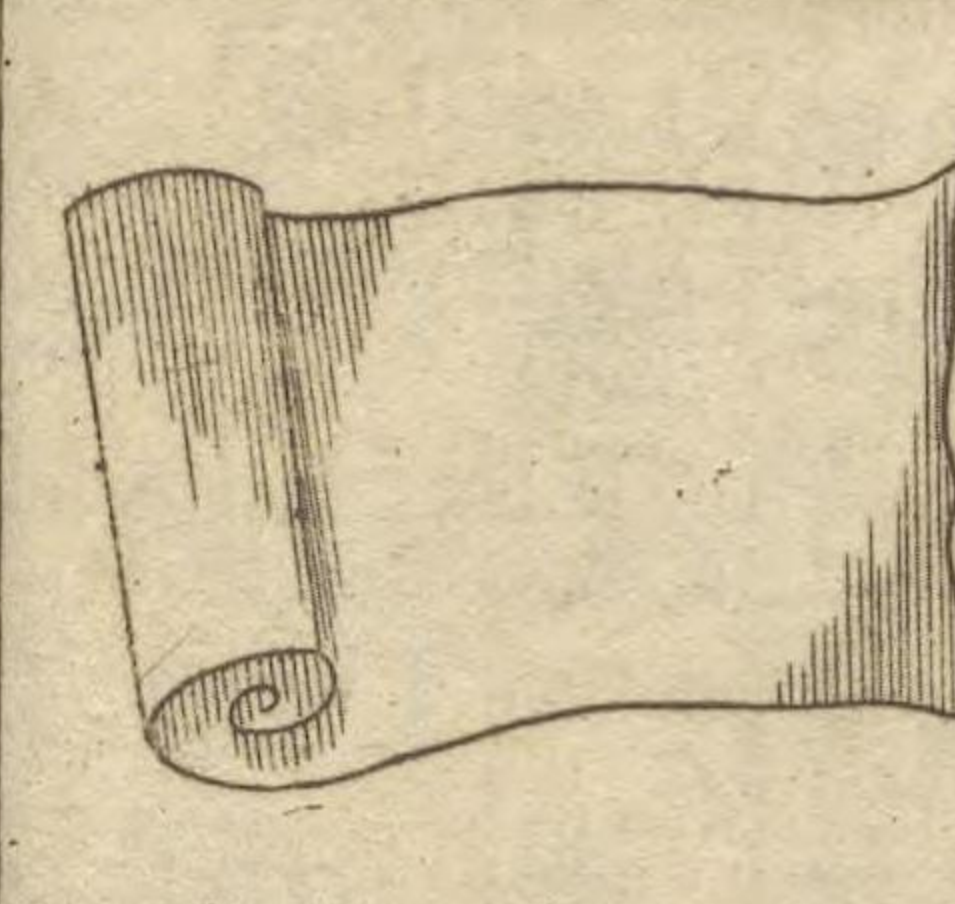
賊ソク秦ヲ咫尺シマハデ寸カヲ咫尺ト云
黙然モク返答ナル見無
清野セイ野ノ作物ヲ

陸沈リク夷狄ニ陸ハ帶ツミ落
不得フク不任其責ニ罪ガ

謁諸陵ケツ西參諸スルノ墓
一見如舊イツ一見如舊テ初對

能令公云々ネ能令公云々ニ超郝

遺臭ユイ後年ニ



禍子之畜

自王知面云レル列
在珣巳カト
珣ノノラ如旧シキ
二人ツ人桓温
ツカフ温
流芳リウ美名ヲ傳
遺臭ユイ後年ニ

不豫フ病マテヌタ
否不副ヒ銜ハ心ズテ其事ヲ忘
洵々ユウ大勢
移晋祚シ晋ノ

日長ニチ居ス
故緩其事コ故トハ譯スザ
平ヘイ一乱ヲ平ゲ
速スウハヤク
移シバ心ヲセネ

僻處ヘキ片田舎
正朔テイ正統天子ニ服事スル
朔シヤク校本ニ云正ハ

半鷄鳴日出ナリ正テイ勿以晋為圖フ晋ヲセナルモク口荒ク荒クサ
統テイ替ハラサルヨリ言コト意コト珪ケイノ浮ウ沈シヲ以テ其使才シ使才シハオ智ヲ

カスカ履履間リノシバシノ歩行フ得其任トク善ク人ヲ任トク捷ケツ戦争力大

擧ケウ大兵ヲオ可斷其流コ鞭ヲ水ニ投レテモ其流ヲセケ擧ケキス

部陳ブテ陣ヲケクシ嚴整ケン無然ム望ボウ失シ小却コハスヨルコトコ感カン文ブン

改正カイ一ノ各ノ頁ニ

長帝帝典簡文孝武安帝恭帝

四

手版之畜

晋ノ天下ヲウ

倒執手板オウ際ノ板ハ券ヲリ晋宋ノ

守在四隣シュ楚ノ沈尹戌ノ語国内安

壁後不能不爾ヘキハ守備ハタバ境

速スウハヤク

雅ガ行ニシテ作ミヤビヤカヤカ量リヨウ夷イ然ハ平ヘ氣ナ賭ト捷ト書シヨ勝シヨ軍ノ寘オウ

不オホ覺ケキ履シ齒シ折ラ喜ビアハテシハツマツキト下ケ駮シ矯シ情ヲ鎮ヲ物ヲ

物ニ乘シテオコル心ヲ情ト云ハ矯ハ思フ外ノコトヲイツ

大ハ號シ帝ノ嗜ム酒ヲ流リ連ツ日ノ夜ヲケルノミ長ク星ヲ彗ノ星ノ其ノ狀ヲ子ト蒙ル

其ノ面ヲ覆フ不ト慧ク愚クワケナキ心ニキキ寢ム興ル吞ム併セ諸ノ國ヲ合シ繁ク盛ク

多ククシテテ羈ス屬ク馬ヲ如クツナキ自由ニササ才地門才能以雄豪自ミ

處自分ニテテ雄豪十父爲九州伯州温九州ノ揚州二牧依テ揚

兒コ爲五湖長義興南二太湖アリ古ノ地五湖二臨メリ故二云

周三萬六千項其東瀕五湖アリ古ノ地五湖二臨メリ故二云

如シ容易殘ク民ヲ無頼家業ヲ抛キ者ヲ法律ヲ如拾芥取ル掃塵ヲ

衣冠絶テ久シ人キ中華ノ民ヲ不露王化夷狄二陷リ晋ノ帝禪位ヲ恭帝

飲マスメ曰佛教二自殺スル者ハ復タ人身

○南北朝 宋齊梁陳 南北朝 西魏東魏

混シ入ルリマ僑居マタ井ズ乳之ヲ擣拵クニテ王者天下二ル

ノモ規ルネラヒミ誘スソビキ出殂ノ胡氏日是ヨリ以後南北朝榮

陽王榮陽ハ郡名今縣南方ノ郡名ヲタメ孰レカ是ナルヲ屬知ラス

令望人キウケノ高趣志タカ應ラカクスルテア東帶ス礼服ヲ着

五斗米縣令ノ年俸百シ八十斗石月二割レ五外一十五斛日二割レ

折腰身ヲカツクメテ礼小兒ヲ督郵徑チコ之糾吟味スルハセテ崇

奉天師道家暴揚國惡国ノ惡事ヲカクサス我生髮未燥生

夕時姑斂戍姑ハマツ守備ノ兵ヲ引ケル義二鞞鼓上二馬

太鼓ス聲言ヲイヒフ荷擔ニゲ貨ヲ度スルフテ胡馬老者ヲ練云炬

改正 南北朝 宋

五

憤頭壞汝云々 汝ハ宋主ヲ指ス今我ヲ殺ス長城ハ道濟已ガ身ヲ

衰弱セ如シ宋コレヨリ長驅ガ馬息ヲモツ控弦七キ斬截貫

槩上殺メハ長キ矛也小見也 盤舞メグルル舞 赤地ヲ屠リ地人

ナキノコル物 春燕云々 十人ノ家燔絶テ燕ノ巢ヲ造クル處 小廉

穩カカナルノ 兵革ハ乱ノ物ヲ革ハナリ 蕭條キミシ 巫蠱鮮漢

ア傲惰ヲオホゲヤリニカマヘ物 無威容 愁傷キケ 疎忌 疎遠二

ルヒノケ 骨肉ヲ兄弟 屢耗 鎮靜 國土ノ騷 乱ヲ 懷集 人心ヲナツ

ルアツマ 無復人理 二人ノ行ハナキ 常理ナリ 廢帝ヲ親ニモト

ニル云 宋人弑之 之ハナリ 壽病 恣マワガ 収養 味方ニ引レ 機事 密

ノ事 嬖人李道兒之子也 通鑑初メ太宗嘗テ見二賜フ已二

李將軍ト称ス 太宗ハ明帝ナリ 或ハ 總萬機 政事ヲカルトメ 聰

睿心ノカリシコキハ 睿成 夙成 其德ハ 幼少カラ 浮屠佛ヲ 遺世

世ヲ道レテ人 稱制ヲ行フ事 遂弑之 萬道成ノ黨揚 玉夫揚

帝ノ防身ヲ 劊ハヌ 取 禪于齊 通鑑齊帝ヲ以テ 汝陰王トシ 宮ヲ

シ乱ヲナス者アルヲ 齊王罪セス 奔リ入リテ 賞ス 殺 彈指 赤誌 誌

同 清儉 質素ニシテ 土價 西昌侯 鄧弑之 通鑑蕭 誡之ヲ 延德

ハ屋下ノ 廢而弑之 通鑑帝ヲ降メ 海陵王トシ 既ニメ 鸞詐

カハシテ 瞻視セシ 無遺類 一人モノコサ 東昏侯 註蕭 行蕭

メ因テ之ヲ 殞ス 荆雍ハ 西南康王 寶融 ヲ輔テ 以テ帝ヲ

穎川 荆雍二兵 起ス 荆雍ハ 西二アリ 謂ヘラク 帝昏逆ヲ

以テ 東二居ル 故二 廢シテ 東昏侯トス 按スル 今河南開

封府ノ 屬縣ニ 蘭陽ト云アリ 即チコレ 漢ノ 東昏ノ 地ナリ

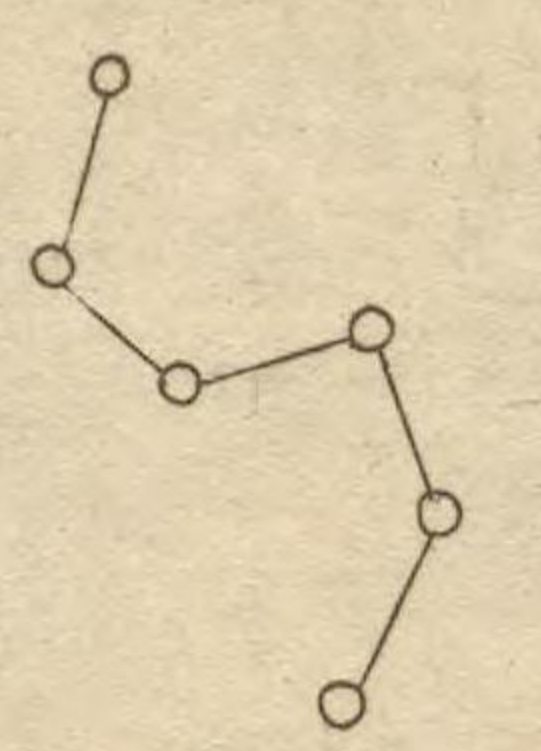
胡氏ノ 說恐 嬉戲レ 遊ビスルシヤ 不接 面見セ 蔚然 草木ノ

見 胡服 北方ノ 日エビス 胡語 昏淫 物ノ 道理ヲ 行ヒスルヘズ 分

狂恣 恒ガ 行ナセ 狂ト 狂ト 帖ケルコト 歩々 ヲアユミ

齊人弑王 齊人ハ 中兵參軍 張 禪于梁 蕭巴 陵帝ヲ 貶ス 被弑 通

死	梁主所親鄭伯禽ヲツカハシテ生金ヲ王ニ進ム王曰我レ	禽	就テ之摺殺	菖蒲	草名	芻	牙	軍門	ニ立ル	裝艦	依ナリ	葦	雨覆
入	時二年十五	立	辨調ソク	遊	騁	遊	獵	コ	ノ	山	野	排	抑
ナ	リ	暄	謗	大	語	ナ	リ	盈	路	路	一	榜	立
メ	リ	屠	其家	家	宅	コ	ボ	不	以	為	意	氣	ス
ル	ナ	罵	ハ	キ	リ	イ	ナ	同	ジ	心	ス	不	敢
ノ	ハ	シ	ル	ナ	リ	テ	テ	レ	用	心	ス	函	使
ト	乱	妨	ヲ	討	コ	毆	擊	重	傷	凶	強	不	復
ル	千	京	師	傾	貨	金	銀	財	宝	出	ス	事	可
知	使	人	ヲ	傾	貨	金	銀	財	宝	出	ス	事	可
起	日	蹙	地	小	サ	メ	ナ	ル	レ	寢	長	追	ル
ル	シ	務	為	壅	蔽	胡	太	后	カ	何	事	モ	魏
ニ	ナ	ル	清	帝	側	左	右	ヒ	小	人	ヲ	蓄	刺



斗星之圖

軍兵ハ手ニテカコフ意

二南方ニ現

スルナリ

攘

軍

兵

ハ

手

ニ

テ

カ

コ

フ

意

二

南

方

ニ

現

ス

ル

ナ

リ

攘

災

ノ

ケ

ル

イ

ノ

天

象

文

天

囑

ケ

ル

ツ

飛

揚

跋

扈

自

由

ノ

御

ハ

ス

キ

マ

堪

ト

コ

ツ

傷

金

具

ケ

ケ

不

足

ナ

キ

ト

云

内

外

傷

請

命

封

爵

ヲ

取

テ

請

命

封

爵

ヲ

取

テ

カ	フ	成	ク	ボ	捨	身	佛	家	ニ	捨	身	通	元	年	九	月	上	佛	二	捨	身	義	通
無	遮	大	會	錢	一	設	億	上	御	服	ヲ	袂	キ	法	衣	ヲ	持	シ	清	淨	大	捨	身
ナ	フ	羣	臣	請	一	億	萬	ヲ	以	テ	皇	帝	ヲ	曠	ナ	七	宮	二	還	ラ	ン	ト	請
テ	三	ヲ	許	ス	神	色	ノ	カ	ホ	母	乃	為	勞	骨	折	テ	ハ	ナ	カ	ツ	矢	石	交
マ	戦	場	ニ	テ	飛	矢	来	ル	了	ソ	ノ	果	味	怖	畏	縮	ス	懼	オ	ソ	レ	テ	天
威	天	子	ノ	所	制	自	由	二	サ	飲	膳	飲	ハ	レ	ウ	モ	ノ	被	截	損	分	量	ヲ
ル	威	光	ノ	所	制	自	由	二	サ	飲	膳	飲	ハ	レ	ウ	モ	ノ	被	截	損	分	量	ヲ
口	苦	荷	々	苦	シ	ム	ド	カ	ナ	ハ	キ	有	文	レ	ウ	オ	ア	尸	位	歸	シ	天	子
位	ト	バ	カ	ル	モ	ツ	名	バ	タ	カ	ト	ハ	先	祖	ヲ	祭	ト	キ	廢	梁	主	弒	之

廢シテ晋安王トシ永福省ニ幽入玉偉彭鳥王修纂酒ヲ進ム王醉テ寢ス乃チ士囊ヲ以テ玉ヲ蒙七其上ニ坐ス王遂ス

突厥南ト西方ノ小國ハ阿史那氏世金山ノ文武之道今夜盡矣以胡氏曰書ノ道盡ク折テ猶有今日日ハ如ク今

滅亡ニ立至ルアリ剛果心ノ推ホツヨク事ヲ禪于陳霸先帝ト憤ホル詞ナリ

識量バツン難難メイロクナスルギ疾苦疾ハソバガルセツケヌ

封王ニ没入長安ハ歎ニ降ルコト没入明敏テ事ニハキラカニシ

ツナク思明察遠識ク将来ノ事ヲ云ヨ昵迫ワガ身ニヨリツカ

入義禪位于隋潜主廣周主ヲ奉メ洛陽ト入嗣トス長夜之

飲ニ益夜ケトルナク酒連延ツ宮殿ノ夕テ沈檀ノ香檀珠翠珠ハ



檀香ノ苗

麗卉百艸ノ侍宴相遊宴ノ唱和出ス先ハ二和ハツツレ

振舞ハニ貨賂公行リ賄賂ヲ公然トト、擧朝朝廷ク

トル云メテ解躰人マ一致覆滅ヲ覆シ身所統領

トル云ト將周百ク里ホドニナルリ三天塹リ然マホ

奏伎伎奏ト同シ女不輟永クツ自廣漢陵ニ作

ル叫声ケルハリ同束引アケラレ合テ俘トトリコ

終一隋主之ヲ洛陽二置キ優給シテ以テ其身ヲ

贈公ルヲ



翡翠ノ苗

○隋

鞠深ク氣ヲツケ付角出鱗起頭上ニハカニ角生ハ心動ナム

ギサワ吸ソトグリー晩相表人相反相ムホシ晦匿カ伎倆ヲ人様ニ

ツハミカ移周祚福ナリ天故二天子ノ位祚ヲ永續ノ幸平陳十州

增補一ノ史田三ノ類ノ全ノ卷之四

三郡一ノ百縣四
時有損益不利アルテ利寛厚心モチテ手厚キ

率意見エタム
無矯飾服用侈應身ニ立キノ器用不相内寵愛幸

人為奪嫡計家督ヲ押領スル
贊ツワケカラム智慧罷歸預擬

前カタカラ引アテメテクフ胡待ナリ不諱後事不諱ハ帝

死後ノ報シヘニ憲テムツイカル立更衣衣服ハ便所ニユク一

ナ所逼テセマントテ強拒ケセツ
神色法然ル涕ノ兒流抵床タ

ルイカ畜生倫ノ妾ヲ犯サントスルハ人足附大事天大事ノ

又ト云レ誤我獨孤后ガスナリト故ニ云フトナ因弒帝通鑿揚

子張衡ヲ就メ寢所ニ入リ疾ニ侍セシメ中外頗ル異論アリ考

異大業略記日帝遽ニ勇ヲ召サシム揚素秘シテ宜セス乃

チ左右ヲ屏ソケ張衡ヲメテ帝ヲ拉ガシム血御屏ニソ

声外ニ聞フ
嗇ヲ出シクカヌルテ物不吝ボヤカス惜気ナ徭夫自

奉カ分ノマ受禪リ周ノユズ踰八百萬通鑿八百九詐力不正

タラキ猜忌イニキライシテ苛察ヲヨクツキテ人ノ過チ無終

始保全者保ツ者無難キナリ
奇材異石無類ノ木材嘉木格別

樹木ヲ珍禽奇獸ヲ通カハツ
實詰入レ樹タケル植龍舟

船首ニ龍ノ飾
羅絡縈紆宛轉屈曲、兒注コムガレ縁フソヒ傳宮

樹禁中ノ凋落剪絲キレ細ク綴ケルツ
荷菱菱茨色渝渝途

芙蓉之畫
ニテ色サリ清夜遊曲魏曹植清夜西園二遊クノ

容八千石隋ノ粗今ノ量ヲ以テ量レハ其時ノ外

五合弱ニ營造ノ土功無虛歲毎年ア
散樂雅樂ラズ

我言ノ類百戲散樂ニ魚龍山車等
端門通鑿端門街皇城端

門外終月而罷興行連日
戎車乘一車一輛ヲ供載軍須云二同

舳艫千里船ノ首尾ナカ
相枕ヨル力饋運且ス引ワタ

テオナリサマ督運メ運ツケ物ノ
才略オヲ智キハ雄遠タケク策ヲテ

改正一ノ各ノ類ノ全ノ卷之四
九

禪于唐	頃メリ坐何鋒及	勸ス度以テ帝	危不離口	上ツ居ル故	二居ル場帝	リナ浪許	一モツ
唐武德元年五月唐奉	セシム帝加ルヲ練巾ヲ鮮キ賊二授テクビラシム	通之ヲ斬リ血御服ニソク帝曰天子ノ死自ラテ	暫時モヤメトヲシ	酒ヲ遣字ヲ冠ラ	帝ニ太上天皇ノ号ヲ	渠ニ所部卒ヲ云	輕財十金銀ヲオシゲ
唐代邸二年居ル唐奉	唐二讓リ遜位	天子ノ死自ラテ	從駕	號	大獲	大獲	黃牛民謡
唐武德元年五月唐奉	唐二讓リ遜位	天子ノ死自ラテ	從駕	號	大獲	大獲	黃牛民謡
唐武德元年五月唐奉	唐二讓リ遜位	天子ノ死自ラテ	從駕	號	大獲	大獲	黃牛民謡

增補十八史略字類大全卷之四終

增補十八史略字類大全卷之五

山城 河村與一郎 編輯

○唐

御象寬簡	傳云李淵日角竜庭ナ	リ又云躰ニ三乳アリ	ルフト	氣斷ハヤリテ	決斷ハヤリテ	キヤス	乗間	号	七メ立テ	ル徳儒賀メ	散大夫二挿入本文
衆人ヲ治ムルニコレツ	日角竜庭ナ	三乳アリ	能ヲカク	驅駕	天子ノ英傑ヲカリ	尊公	二郎	關中	指野鳥爲	賀メ	挿入本文
衆人ヲ治ムルニコレツ	日角竜庭ナ	三乳アリ	能ヲカク	驅駕	天子ノ英傑ヲカリ	尊公	二郎	關中	指野鳥爲	賀メ	挿入本文
衆人ヲ治ムルニコレツ	日角竜庭ナ	三乳アリ	能ヲカク	驅駕	天子ノ英傑ヲカリ	尊公	二郎	關中	指野鳥爲	賀メ	挿入本文
衆人ヲ治ムルニコレツ	日角竜庭ナ	三乳アリ	能ヲカク	驅駕	天子ノ英傑ヲカリ	尊公	二郎	關中	指野鳥爲	賀メ	挿入本文

死逝去テ僭偽天子ノ位ヲヌス釋奠孔子ヲ祭ル菜トリ

其義幣帛ヲ以テ號ク前定官制大尉司徒司空三公トシ

侍六省トシ御史臺大常ヨリ少府二至ル衛トテ九等ト

均田地ヲケル平均租田賦庸備賦ナリ調戸賦ナリ

物ナリ貢ス丁中之民下ヲ通シ中ハナリ篤疾夕キ病ガ世業代

所業持ハ爲口分一人別ニ應シ授ハ永代モ千ハ綾絹絶布タ

日三尺織ル納メ布帛三尺水旱早水損害蟲霜蝗虫多ク降レ霜五

穀枯レ貨業ノ九等上ノ太白經天方ニ顯レ星ノ西方東

樂ト協謀曲意種々短テ計帳立帳取游畋狩野ノ

現ハ中天星不時二現ス劉向五紀論曰其占ヲ云フ喪又ト作ハ

長ク王更タメ強シトス見秦分其國ノ分野二出現ス世殺民ノ

弱ク小國ハ強シトスハ東宮官屬魏徵時ニ太子ナリ離間人中二

テ應ス取處決クサバ東宮官屬魏徵洗馬タリ離間水中二

シテ邪ノ舉止ルマチ自若カ不斷ツキカハラス龍鳳之姿ト天子成

好キ天日之表仰ギニ對スレバ如キ威高キ相ヲ云ト幾冠ト

後十歳前延招待ス番其事ニ逾アタリカハルク討論義理ヲ議タ

論ヲス登瀛州ニ大夫美テ仙人ノ思フコト瀛州補外并二軍職

補ハ其務ニ王佐才王道ヲ以テ明君ヲ云經營四方治スルハ

任スルナリ帷幄幕中ニ居ルヲ太宗ノ剖決如流理ヲサダメカチ疑ハ

キラ帷幄傍近クニ居ルヲ太宗ノ剖決如流理ヲサダメカチ疑ハ

ヤクシテ滯リナキ便橋集覽長安城北面西頭ノ門ナリ初

ス故羅拜一列スニナラヒ四部甲部書又四庫書ト云經書ヲ

二云羅拜一列スニナラヒ四部甲部書又四庫書ト云經書ヲ

部ヲス丙部トシ詩文集ヲ丁部書又四庫書ト云經書ヲ

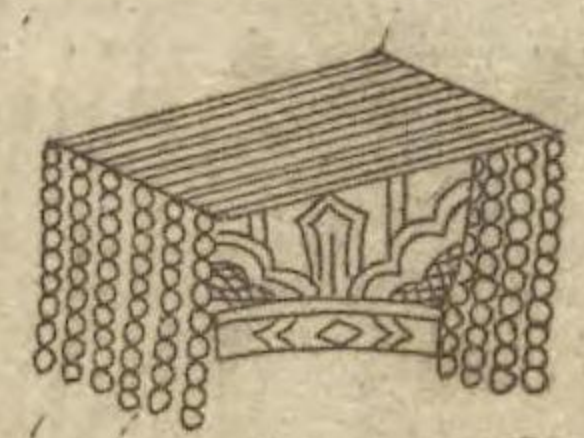
ルト執理ヲカク論シ持ツ理順肯ニ人ノ了簡刺民ヲ人民ヲ傷メルト物

充腹ニ食フ一ハイ剖身チカラダヲタ大寶箴大寶ハイマ天子ノ位

九重闕門遠郊門近郊門城門不過容膝ル迄ト云トスエ八珍ト

八種ノ珍味ノ**不過適口**口思フ中ニテ旨シト**没々**ク見ラ**察々**ル見ナ**冕旒**

天子御ス冠ナリ前後ニ五色ノ玉ヲツヽ表スリ**黠**



ルナルタケ臣下ノ冠ノ過チ右ニ付兩耳ノ旁ニ**十道**今關内

地、淮南、今ノ江蘇安徽、江南、今ノ湖南、今ノ湖北、**各執所見**ヲ面々見ル**雜**

署其名ヲ連判**省審**論ノ可ク否クキ**駁正**テ非難ヲ正スルケ**相檢察**モト

雷同ニ事ノ善惡ヲ論セズ衆**守秘書監**階高クメ官卑者

官高キ者**徇國**從身ヲ徇ト日物フ**面折**目前ニ人ヲ論**廷爭**廷中

爭ヒ言**林邑**城今云占**高昌王**高昌ハ西州ノ方ノ地**夷**爾書朱印ノ大

有奉大豊**澆訛**ハ薄也訛ハ偽也**勤而撫之**ヲ政ニ出精シテ民

大稔豊**米斗三四錢**斗ハ日本ノ米錢三四錢ニ直ルナリ唐ノ一

元通宝二シテ十錢ノ**外戸不閉**門盜賊ヲ入クテナク夜**行旅不齋**

糧旅人食物ヲ持テ**取給於道路**宿屋ニテ調フノ食店**内附**属

トナ**七德**禁暴戢兵保大定功安民和衆豊財七德九功舞ト

ス**九功**云書經ニ事ノ功ヲ**偃武**軍ヲヤ**諦觀**物トクルト見**親録囚**

徒師古曰之ヲ省録シテ其情状ヲ知**閔**憫ヲ心モト其ナリユ

トコ**死囚**メ死罪ニナル**吐蕃**今ノ西藏**抵**リズカトホ**糧裝**兵糧

ク**與直**ワ代金ヲ**番上**順モルナリテ**以遠近給番**給番ハ當番ヲ

千里ハ五番千里ハ七番千五百里ハ八番二**遠疎近數**當番ヲハ

マバラニシ近所ハ**獎歎**向フヲ格別ノト思ハセ**外講筵**

講叙所ニ**師說多門**春秋二服虔杜預ノ說アリ書經ニ**五經**

出席スル**疏**テ義理ヲ通セシムル**遏絶**音信ヲ塞ギ留テ**文成公**

主太宗ノ皇**拘留**オトクメ**興替碑**功跡ヲ石ニ刻**負功怨望**暗劣

品下劣ヲ暗ク人**擧**ス物ノキマワレメ**險詐**實意ナケハシク**阿黨面**

改正十台各字類大全

指踏鴨綠水一名馬背水源長白山ヨリ出覆其本根敵ノ本

班師軍ヲカ是行馳驛宿次ノ早少牢羊豕ルソ

回紇等十一姓回紇阿野古同羅僕骨多監葛弘廟略平治ス

顧望カ思案ミテ進之輻湊ア物ツノ一所ニ自售創業開國ノ祖初

得ル者守成有人主ノ祖業ヲ保草味之初造物ノ角力所忽タ

往矣モハヤ過去神采采神威光温顔不諱死才人婦三世

五品ナリ正昭儀九嬪ノ弟一等北朝齊温恭嬉怡狡險忌克龍

思好ム勝笑中有刀エノ内二刃ヲカクスト黔州安置黔州

遠ノ四川宝慶府黔江縣ナリ胡氏曰荒政在中宮中宮ハ武后

武后ノ手ニ決ス政事一鳳鳴朝陽山東朝陽ト云フ至テ擁虛

器テ其實ナキリニ娥媚娘小名愕不意ニ出逢ヒ爾健邪

左様ニツヨ風眩風疾ニテ疾涉獵大旨ニ通慶事皆稱旨事

サバキ皆気倅ソアトサキノヨク一杯之土未乾高宗ノ陵ヲ

テ未乾ハ崩シ域中國内シト竟是云々李氏ノ天下カワカラスト云

一匡復李氏ノ天下ヲ自名嬰鳳閣侍郎宗秦客十二ノ新字

リ字ナ居中用事テ禁中ニ入マヒクシ内行不正身モチワ告密事

想フ告ケ鍛鍊吏人ヲ羅織一連坐ノ人ヲタクリヨセル率アシ紀掛

制同シ鑊ヲカニト劫メル說文ニ掛針ト權數手段ト仁恕慈悲

ノ心ヲモチオモ寛厚清慎寛容温厚ニシテ心清犯而不校

ヒヤリノアル一寛厚清慎寛容温厚ニシテ心清犯而不校

人ニ無礼難澁ヲシカケラレテ唾拭ルフキト愀然顔ヲシカ

フル逆所容マダメテ拒營求望事ヲ引出ス一テハ櫛風沐雨

正字通勞苦シテ休太帝高宗ヲ天皇配食ルト食ハ合殿二祭

增補一史... 卷之三

リ 衽 廟ニ 衽祭 多通 諸務ニ アマネク 規諫 規手本ニ 成 珍味

美言良策 備藥物之末 藥物ノハ 規諫ニ 喩フ 行冲ノ 一言モ 藥

籠中物 行冲ノ 規諫ハ ワカ 蒸籠 桃李人戈フニ 佳士 格別ニ 用

云 反正 天子ノ 位号 異時 他日ト 見天日 幽居ガ ハレテ 適武

三思之子 名崇 訓 雙陸 點籌 勝負ノ 數ト 請謁 多ク入テ 内 賅

賅 降墨勅 朱印ヲ 詔ヲ 押サズ 墨 斜封付中書 正封セヌ 詔令ヲ 中

沙汰ス 面詰不撓 マヒル 撲殺 快々マヌ 餅飲 校本ニ 賜フニ 唐進

綾 燄アリ 薄餅ニ 肉ヲ 革弊政 惡政ノ 政事 盡公 計ヒツク

一 請托不行 權門ニ タキノ ミコ 紀綱脩擧 政事ヲ 整ヘ 翕然

ホメタ テル 如ク 貶官職 ヲ 五經掃地 掃物ツキテ 余リナキヲ

在ナカ ラ 諂ノ 舞ヲ ナス 五經 掃地 ヲ 掃物ツキテ 余リナキヲ

慶分 區処分 匡復 ナホシ カヘス 儲嫡 キヨツ 黃衣 宦官 賤 稟食

給 倉ノ 粟ヲ 俗樂 優舞ノ 伎能 教坊 開元ニ 置キ 俳優 雜劇ヲ 掌トシ

ム 綉ノ シキ 清謹 ヒツキ ヲ シク ム 行 儉素 儉約 所居不蔽 風雨ハ 所居

宅 作事ヲ ステ 才 謁告 休暇 ヲ 乞ヒ 自居ルノ 委積 ヲ 滯

裁決 サバ 伴食宰相 其職ニ 居ル 任ナルニ 猶食 犯顔ノ 人主

怒ニ カマハズ 附入テ 應變 常則ヲ 守 守文 定法ト 志操 平生

ガケ 逃移 家ヲ 稅夫 役ヲ 逃レニ タメ 家 檢括 戶口ヲ シラベテ

競 爲 刺 急 我 一ト 嚴 刺 急 速ノ 承 風 勞 擾 其 仕 方 ヲ 受 傳ヘテ

ワグ 一 字 書 勞 劇 也 擾 煩 也 亂 也 更 番 上 下 順 次ニ 番 ヲ ナシ

自 宅ニ 分 隸 配 分 配 ヲ サス テ 支 峭 直 典 嚴 厲 ナリ 字 瘠 柔 佞 見カケ

シテ 人ノ キゲ 一 狡 數 手ク ダガ シコク シテ 動 靜 スヤウ 節 度 使

都 督ノ 使ヲ 帶ヒ 節ヲ 持ツ 批 附ガ ミ 營 州 雜 胡 二 雜 居ノ 營 州

者ノ 稱 高 宗ノ 時 二 始 マル 批 附ガ ミ 營 州 雜 胡 二 雜 居ノ 營 州

者ヲ 云 州 今 盛 京 狡 黠 シコル シガ 女 官 ナ 女 道 士 別 娶 鄉 將 以テ 壽

改正 各字 頁六 卷之五 睿宗 玄宗 二十四

充物起第... 有赤心耳... 如糞土... 賜

予下... 綵輿... 昇... 宮掖... 瞻... 迎... 立伏

美言... 須好點檢... 掩蔽聰明... 迎... 立伏

馬... 杜絕言路... 掩蔽聰明... 迎... 立伏

煙塵千里... 大獄... 術數... 承平... 偕號... 靛羯

狗... 瓦解... 何狀... 比死罵不絕口... 靛羯

帝廟... 縊殺... 慰撫... 馬嵬之命... 勉... 宣旨

衣交... 冊寶... 馬嵬之命... 陳濤斜... 靛羯

氣... 破妾子... 保障... 長驅... 靛羯

宮... 羅雀... 因病厲鬼... 西內... 瞻拜呼萬歲

登遐... 轉劇... 相表裏... 黨援... 厭苦

抗朝命... 苟冀無事... 切齒... 愧恨

増補 古今類聚 卷之五

ハツカシキナリ恨ハ自知留後 朝廷ユルニモナキニ自分

殘念カシキナリ恨ハ自知留後 朝廷ユルニモナキニ自分

二虜吐蕃 爭長 免胄釋甲 總トリシ 勢傾朝野 令公來

書令タリ故ニ 判庶務ナリ 判決 鼎覆鍊 弱ハ君ニ喻フ三足

其勢ルニ七キヨ 判庶務ナリ 判決 鼎覆鍊 弱ハ君ニ喻フ三足

不徳ナレバ其足ヲ折リ鼎ノ實ヲ覆ス如ク君位危キヲ戒

怡然ツリユクレニウ 不軌 案簡 スルミ 賜死 自殺ヲ命 籍

ヨテスルケツシ 胡椒 西南熱国ニ生カナル木ノ實 酢ナ斗ヲ

物稱是ニ日用ニナキ胡椒 辛ク性温カナルモノノ實 酢ナ斗ヲ

ル聲樂モナリ 騎從 八車馬ナリ 止存 場ニ留意モチヲ其 痛悼

追思スル事ヲ 欺罔 ソウニナラヌモ仕ブコメ欺ト云罔ハ 收時

望ヲトノル人 法親故 オ親類故ニ 諳ボラオ 緡 錢ヲ一緡ト云

又千錢 漸服 賜錢ノ所置ニ 勵精求治 不次 品次カ行ヲ取ル

兩税法 夏秋 版籍 地籍 註戸口 輿 寢壞 亂雜ニ成 所在 賦歛

アチコチ 迫趣 取辨 迫趣 取辨 ハ追ツマカナヒスル 常準 常例

二同 下戸 家等 困弊 身代ハコマルル 弊 所用 常備ノ 上供 天子

年用ノ 賦ケルツ 主客 客ハ寄留 見居 現在ノ 丁中 人足ノ 差

差別ヲ 行商 キタビド 兩徵 取立度ニ 雜徭 土地製産物 治財計 濟

二巧ナ 戸部 天支配 度支 會計 轉運 貨物ノ 支使 戸部以下

任セラ 漕運 水運ヲ漕ト云 幹 取 低昂 品物ノ 安價ハ 低 充

足不足ナ 希炎 吉揚炎ノオモツハケル 受 藍面鬼色 藍ハ 深草

レイ顔色 青 尚父 父トシ尊ブ義 爲天下安危 郭子儀ノ進退

泰トモナリ 又危 乱トモナルト云 校中書令 校ハカニガハ

毎年ノ末ニ 黜陟ノ重キイヒナルト云 校中書令 校ハカニガハ

云問安 伺ヒゲニ 額ツウクナ 行税問架 家宅兩上 税ハ二千錢中ハ

改正 各字 頁 卷之五 德宗 十六

増補... 千下ハ五百トス間ヲ匿除陌錢五十陌ハ百ナリ一繕千錢ノ内

スモノハ杖罪ニ處ス除陌錢五十陌ハ百ナリ一繕千錢ノ内

九六錢ノ如シ他物ノ賣買犒師ヲ給人ニ食物糲食ノ米穀

菜餚小麥粉ニセシ菜ヲ色濺水ヲ潑ギカ厄ハ福ニカハリ自由ニ

一暴ニスキダシ喧騰ヤカマシテ罪已ヲ自カテ罪謝ルビ悍

卒ハ通鑑註悍揮涕リナシボルヲフ擄ダフ露布捷軍ノ表文ヲムキ

一メス肅清ヨメルヒキ祇謁テマニユ鐘簾スベ云ナリ籬ハ鐘

リ木ツ廟貌如故宗廟カハラズ安泰ナル一孔穎達曰廟ノ言

生時ノ宮室ヲ以テ見ニ所陷コメラルオチ量移移ハ徙ナリ

カタドリ之ヲ為スノ見ニ所陷コメラルオチ量移移ハ徙ナリ

ク存ソケラレシ者赦ニアハルナリ輕重劫盟會盟ノ片兵ヲ

量リテ近地ニウツシ易ハルナリ輕重劫盟會盟ノ片兵ヲ

ルトス離間中タガセ賣燈必吐蕃渾瑊ヲ朝廷ニ得ル馬遂尙儻ニ

千二一ツモモロシ詭誕ルツハツレノヲ大言ス宜力クハタラ

剗切ニ論ナク親切追仇盡言ナ盡言ハ腹一パイニ諫言スル

遺恨ヲ晴風采ルハハニキ也朝夕今延齡ニ道ヲスル命ノ

ヒモラシモトカク言一白麻綸命ヲヲ麻ト日フ紙集覽唐制五二封

ノ相ニ拜スル壞ハバツクニキリ慟哭ハハ悲シヲ取失フ一沮

ニ白麻ヲ用ユル壞ハバツクニキリ慟哭ハハ悲シヲ取失フ一沮

間ニハ牛リ治民如治家民ヲ愛スル家内クヲ人ノ如考成績

邪ハスル一治民如治家民ヲ愛スル家内クヲ人ノ如考成績

ガキベ撫字ヤシナナ催科リタツグヲト政拙故民ヲ愛スル深キ

時賦稅重シ故スル一ト云叛亂藩國朝廷ノ命ニ從ハ姑息

テ當時ヲ諷刺スル一ト云叛亂藩國朝廷ノ命ニ從ハ姑息

通鑑註姑ハ且也息ハ休娛侍ル傍詰スル遊一幸仕合ノヨキ

也一時ノガレノ息ハ休娛侍ル傍詰スル遊一幸仕合ノヨキ

死交許生相蹤跡詭秘出入所ニ在ル人ノ知端倪ハ物ノユキ

山ノ頂ヲ端ト失音又ノ出追追テハス一監國天下ヲアツカリ

云水際ヲ倪ト失音又ノ出追追テハス一監國天下ヲアツカリ

ル爲兵馬使張劬全勁勇ヲ前カマハラズ進ムヲ勁ト云苦痛

冠第一ト疏人才テ進ムル書シ器局ヨウリ峻整ル風ヲ峻ト

云キチヤウメニ干向ム一入批勅命書ヲ非難ヲ云一曰文吏請更

ナキ行ヲ整ト云干向ム一入批勅命書ヲ非難ヲ云一曰文吏請更

改正... 卷之五 德宗 順宗 憲宗 十七

連素紙 勅書ハ黄紙ナリ李藩直ニ其紙上ニ批書セニ批書ヲ請フ以
鯁直 通鑿法ニ云鯁ハ魚ノ骨又骨ノ咽ニモトル如シタルナリ逢
迎ソレノ心ヲ合セハヤクサトリ 謹々直ナ 宜慰 詔ヲノベテ軍士
六州 通鑿 魏博 魏相 衛檀 相 磁 洛ノ六州トス 閱史約 給復 復ハル夫役
マフ給ナリタ 倂強 キイカツ 匹命 脱走ス 混軍聲 驚鴨ヲオドシ
馬ノ物音ニ 鷄鳴 ロナリゴ 牙城 内城ヲ云 檻送 牢コシニメテ人
ノマニヤラソウ 羨餘 費ノ外ノ 瞻奉 拜礼ヲ 捨施 錢財ノ暴
崩 崩スレテ云テ 服金丹 ハゲニキ 金石ノ製 蒸ヲ 多躁 逆上ニ
ナカニ 藥發 藥毒ニア 丹辰 飾風ノ類ナリ 絳ヲ以テ張リ六
箴 箴ハ諫 宵衣 早ク外朝ニ出 正服 衣服ノ正ニキ 罷獻 玩好
獻進 納諫 臣下ノ諫言 辨邪 別邪ヲ辨 防微 不利傷害ノ
ヤメルヲ 用ハス 徧急 心セバククシテ 動ハトウヤラスレ 遭捶 擗竹木ナ

骨身ニコタユルホ 夜獵 敬宗好ニ捕ルニ夜深ク游獵 親策 天子
ドタハカレル 制舉 唐朝士ヲアグルニ三等アリ天子自掌
ヲ記スル 極言 分官者ノ横恣ヲ十 考官 進士ノ對策ヲ 物論 器
握手ノ 然 衆人ノ論 稱屈 上第ノ劉賁ハ取ラズ中第ヲ取ル 下第 落
リナ 登科 選ニ中リ及 無顏厚 面ノ皮アツクイデ 不報 朝廷ヨリ
ナキ 倂儻 志ノ大セ 尚氣 勇気ノ 文辭 文章ヲ云 權數 手クダノ
一 揣知 揣捫シテ之ヲ 以微言動上 宗ノ氣ヲヒクダシテ文 以
誠告之 本意ヲ告スル 為己任 自分ノ引託ケルツ 金吾廳事
金吾ハ武官廳事ハヤクシヨト云フ 集 石榴 執兵者無
古治官所ヲ聽事ト云六朝以來 聽事ニ改ム 行 文書而已 書モノ扱
數 劍 戦ヲモツモノ 不濟 官者ガノ 謀 戮 行 文書而已 書モノ扱
ニシテ生殺ノ權ヲ 無意 クオモシハ 治園池 庭ヲツクトリ池 別墅
官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ
改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

改正 一 各字頂心 憲宗 穆宗敬宗文宗 二十八

字典 野ハ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

官者ニ奪ハル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

別館ナリ 勝 色ノ地タル 觴詠 酒ヲクミ 詩 與時浮沈 時世ニ

增補... 卷之五

日ヲ送リ危キ言激云ニキ 四朝 憲宗 穆宗 敬宗 文宗 繫國家輕重 斐度ノ

ヨリ朝廷ノ威輕ク 憮然 失望 立不由已 等ガ立タル天子

譏切シキリニ 構貶 級言カマヘテ等 排軋 互ニスレアフテ

ル垂意始ノ 排擯 落子ダス 老於軍旅 ト老ハ熟練 險易 平地 若身

歷過身其場ヲトホリ 葺保障 トリテフ 極慘酷 至極ムゴキ

擠援ヲ助ケルトシ黨 連テ引ツキ 累朝 朝廷代々 度外クモハ

リナ 在心腹 場所ニア切リ 輔車之執 ヨリア類車ハ牙 悚息聽命

ヘテ承服 曉諭 理解ス 規相公 李德裕 節 節度使ニ賜 柳子

地名 曳地 光明 甲 滿地 二軍卒 充滿スルヲ云 光明 甲 鈇 甲

甲ニ作ル云今兵衆ノ 微賊 一微揚 弁ヲ云フ 怒 内情ヲ察 國

力不支 テ費用トボラヌクシ 窮蹙 致仕 官ヲヤ 閑 疎 斥 ヲシ

ラリツケ 勒ルミラベ 不慧 カラヌコ 韜匿 カク徳ヲ誘 シムルキ言 豪

邁 ヲ性ノツ 光叔 宜宗 始メ光王 權 フヲ又平ナリ合 勾當

バトリサ 咸北遷 南地ノ配所ヨ 方略 聰察 聞ワケサトク 物

強記 ヲ憶ノツ 纂次 風物 處分 階前 則萬里 事物ノ

ムラ如シ 唐代 三百歩ヲ知ラサルナキ一階前ニ万里ヲチ

ニアル擬 アソレニ 托ケルコツ 面察 便道 便利ノチ 直廢 格 透 惰

容 不行儀 怡然 ナリ和ラク 閑語 負 背 屏 ノハケラセ 威

斷 咸斷スルコトヨク 比 濫 ムリニ入コ 無辜 キモノナ 缺 破 虧 ナリ

リナ 消耗 消ハ盡ナリ 滅スルナリ 南北司 北司ハ宦官 如水

火 中アノ如シ 水 聲振 中原 國ニトウバニガ 中 剽掠 剽ハ劫ナ

取ナ 斂 愈 急 トリタテ次第ニ 不以 實聞 實事ヲ奏 達 流 殍 ハ

餓ナリ 控訴 告ゲルツ 喜任 俠 俠者ハ善ク人言ヲ容 貶 私

塩 塩ヲケウ 攻剽 趨 俗字 赴 援 其場所ニ向セ 加 鴉 軍 李克

改正 各字 頁 卷之五 武宗 宣宗 懿宗 僖宗 昭宗 哀帝 十九

增補十八史略字類大全卷之五終

摩下皆黒キ衣ヲ服スヨツテ鴉ト云也館克用スル用ノ宿侵カ無礼ヲ仕扶醉醉ク

之自由ニ引マワス劫與官官相處リ日天子官ト宮中ニトチコモ緇城ス城上ヨリ下ル實挾スル

一又呑噬ヲ攻アテテ勝大漸キ病危フ明粹ナ心ニ他念恢復ヲ時ト

スリカヘ忻々馬ウキ立ツ意巡警マシムル纂奪リ天子ノ位ヲム沾ス

者官品ヲ秩ノ早キソツ意備洒掃ス掃除役ニマシムル纂奪リ天子ノ位ヲム沾ス

巾キナ手ヲスヲ夢想志ノ切ナル一ノ恢諧云オドケヲ歇後詩半語ヲ

意ヲ言外ニ求メシムル詩ナリ譬ハ賂厥孫所蘊腹料簡手

注班簿朝ノ者ノ姓名ヲ記セル簿モハ在堂吏吏相府ノ鄭五鄭五

男ト云ト

改正十八史略字類大全卷之五終

增補十八史略字類大全卷之六

山城 河村與一郎 編輯

○五代 梁

無頼或云頼ナキ行ヒヲスルモノヲ云朱五經名ハ誠時ニ五

ス故横行縦横肆行ノ畧憚リナクテ四鎮宜武軍宜義

軍行ト云テ不遑寢食防禦急煩ニシテ填塹埋草ヲ

埋メ越ル二鎮鎮州大原遺孽遺ハ一留孽ハ庶昌熾

無葬地梁ノ土地ハ終ニ晋ニトラレ身ヲ愛假子友文之妻

假子ハコブニ友文本姓ハ康所弒友珪梁主ノ意友文二属

名勒愛ハ密通スルコトヲ云所弒友珪梁主ノ意友文二属

謀ヲ合セ珪ノ僕憑寢殿其腹ヲ刺ス及背ニ出ツ珪敗

以テ尸ヲツツハミ誅之謀ヲ合ス珪ノ表東胡種也ノ歐陽修傳國

改正十八史略字類大全 卷之六 梁 唐 二十

增補一姓田三類ノ全

寶カク 秦ノ始皇藍田ノ美玉ヲ得テ至トス歷代傳テ一八部大

人但利皆 室活実活納尾頻没内會鷄集解王鐵槍 每戰二

鐵鎗ヲ用ユ 皆重百斤一人鞍中二置キ一ハ其下揮使 皇都指

麟手 二アリ所向前十時人鞍中二置キ一ハ其下揮使 皇都指

○唐

微眇チカニ 所蹙土地ヲ奪ハレ 世龍忠貞 朱邪執宜 以來皆カ

云大人ヲ子ヨリ父 尊養時晦 詩ノ酌篇於 鏢王師 遵養時晦

紂二味ナリ 鄭箋曰文王ノ 師ヲ用ユ 以テ其惡ヲ叛 國ヲ率 以テ

ヲレ 候ツ 警詩也 沮喪沮ハ 恐怖ナリ 拮拾レ 召補マ 子キ

足ナ 才ヲ 接應ノ 軍馬出 兵糧 給支 取之 天下ヲ 悒々安 見セ 老

奴分張 兼業自 謀猷謀 猷ハ 物ヲ 仕ケ 方ム 規益ト 規ハ カタ 益ハ 合セ マ

受成崇 翰ノ 仕ナ 出シ タル トア 受ケ 行ヒ ワ盤 遊遊 樂二 度ナ

墨粉 顔ニ ツロ ヒ糝 墨ハ マユ スミ 遷前 意存 ジモ ヨラ ス不 批手

テハ リ理 天下ヲ 故ハ 政務ノ サバ キヲ スル 李理 ト音 通倫

弄コ ナブル コツ ケテ 莫敢出 氣ス オク ビニ 毛出 サル 附託ミ ツケ コ

ノム展 轉モ トメ ル手 ヲモ トム 干説 文ニ 犯蟲 政政 害ア ル腐 出ラ

ス如 キ詭 慝人 ヲア シク ソシ 疎忌 嫌フ トミ 蹂踐ラ スア 恣恣

恣ハ 嗟ク ナリ 魏博戍 將揚 揮使 喧競ヤ カマ シク 我星 行夜

コメ テ道 ヲ自 理筋 道ヲ 立テ 言過 ドサ ムヘ トト 安ト コニ カ保

無恙殿 ナヘ ソ神 色神 ハカ ホツ キ伶 人友 ナハ 善歛 樂器 ニテ 死

痛心 氣ニ コ驕 淫心 高ブ ナリ テ行 時論不 與其 惡行 ヲ論 ヲ立 テ

云ヲ 端門正 門ノ 悲駭不 猜忌心 ヲ邪 推ガ ナク 無競ハ 争ソ 登極

位ニ 即祝 ゴイ ノリ 聲色色 ハ婦 女ノ 寵愛 遊遊 敗賊 蟲ル 胎ハ 此受 賊

改正一ノ各名頁ニテ

增補ノ史記類纂卷之六

民ノ害ヲ校シテ比ナク小康ハ安穩ナルコトスコ明宗次子也注通鑿

子ト要ハ場ヲ云ノ寛柔ハヤツタカリシテ少斷ハ物ヲサバクト出

奔ハ帝北ノ方陝二走ル曹太ハ無全理ハ安ナキノ道班迎ハ上テ人列

之計ハ始終無事ノ移之ハ敬塘ノ鎮ヲ移ルテ云

骨立ハ病ヲ見ユル衰ハ不以為虞ハ用心ヲ公王ハ敬塘ノ妻ナリ

備殊禮ハ格別ノアルシ告哀ハ高祖ノ喪田圖使ハ名ハ喬榮荀子儒

於掌ハ上注ニ回ハ轉移也圖規畫也胡氏曰凡ソ外國中ト

穀人ハ民ヲ畧シク財帛ヲ掠メタル稻ヲカリハ遂辭ハイハスニ執

晋王以歸其國ハ契丹王謂打ハル取ルハ義侯ト斃鋒刃ハ劍戟ニカ

委溝壑ハ溝谷底ナリハマ優賜ハク分モノオ括ハトルリ不聊生ハ心

ノオチツ頒給ハ分配ルシテ欲輦歸ハニシテ帰ラニトスル

○漢

兵間ハ軍中ト云據形勝之地ハ地形勢コスモグルハ三土稱兵ハ軍ヲオ

虎口ハニアブナキメ實鹽ハ実ハツハ帝紀ハ帝ノケル肉ヲ云ハ選募

スグリモト上供ハ唐ノ制租税ノ徴ハ朝廷ノ各種ニ充ルモ上

稟承ハ詔ヲウハ總機政ハ引機密ノ政ヲ公忠ハ誠ヲゲツクハ握筭ハ握ハ

ギン遺利ハオチコボ供饋ハ仕カオナクヒリ毛錐子ハ筆ヲ

ハ籌ナリ具縦横ハ算法ニ縦ヲ一ト裁抑ハツオケルハ禁聲ハテダマ

フト云裂黃旗ハ旗ヲ引サキテ天子ハ黃袍ノ代リトハ隋唐ノ天

許サ

○周

改正ノ史記類纂卷之六

漢周 三十二

增補十八史略字類大全 卷之六

擇姻家婚ヲエラトヨブ 婚ハカヘリテ考 策命策書ヲ以テ

無寧歲オダヤカナ 大喪ズ太祖崩 山壓卵山ハ世宗我兵二

督戰合戦ノ 左翼左ソ 死戰死ヒモノ 収奇貨モシロ 姑

息ソノ 浚簡メヨリス 散散ラテ強兵ハ留 尤モス 精強ハカ 殿前諸班諸班ハ直散都頭鍊騎ナドヲ云フ 克捷皮笠

遣使使者陳覺 奉周正朔正朔ハ正月朔ナリ 關南瓦橋關以南

皮陣笠クリ 閱見ホスト 盡死死カヲ 義ニテ 劍跡太刀キツ

保時府ノ 設今亡ニ 其址在藩 晉王タル 出人意表人々ノ

向無前軍手ガ 發姦姦ヲ 伏見ツケル 登遐天子ノ 鎮定言鎮定ハ 所

名今合セ直隸 策立軍兵ドモ 策ヲ 禪于宋宋主帝ヲ

省真定府是也 實二姓太祖郭姓名ハ 威世宗柴氏 十年而亡

王二封 崩メ 實二姓太祖郭姓名ハ 威世宗柴氏 十年而亡

太祖在位三年世宗在位六年恭帝在位半年

改正 增補 十八史略字類大全 卷之六 終

政正 增補 十八史略字類大全

卷之六

周

三十三

增補十八史略字類大全卷之七

山城 河村與一郎 編輯

宋

甲馬營一名來馬營河南府 異香常ニカハツ 香狹兒異香ノ

邀駕出ノリカモ 文書中主少國危 周恭帝時二七 歲契

地自立スルモ云ノ推戴之議天子ノ位ニ推尊 黑光相盪盪ハ

數國アリ故ニ云ノ環列匡胤ノ陣屋 大尉匡胤 羅列

衆兵羅列ナリテ攬轡馬ヲ驅メテ 整軍隊ヲ伍サシ 群情人世上ノ

方面キセラタ 有天命者任自為之我ヲ殺シテ帝王トナル者

爾哀矜矜ハ心ニウケ悲ム 可生之道ルタスチ 如白駒過隙

白駒ハ日ナリ隙ハ晷ナリ人生ノ早ク過ル日ノ隙ナリ過ハ

過日行ノ疾ク 便好田宅ノカツテヨキ処 倚信面奏 天子ノ奏問

號令ツサシ 除拜官職ノ 熟狀宋ノ制大事ニハ大臣天子

施行録シテ可ク受ケテ 存形跡前後ニ氣ヲ配リオソレ

疑跡存ナリテ嫌 劄子唐ニハ之ヲ勝子又ハラ 奏御天子ト面

批判ス 聖旨天子ノオ 書字押スコトキ印ヲ 奏御天子ト面

議進呈スルコト具ヘ 降表降伏ノ 蜀鑑ハ鏡 偽蜀ニソ 正統

メ帝王偽ノ号ヲヌ 五星聚奎主五星ハ五行ノ星奎ハ文章ヲ

鎮星ヲ云ル 推歩如シ故ニ歴算スルヲ 聚斂セルメヨ 鼎鑑ツ

歲星依ナリ會 憤惋強ムルニ 市買ル 聚斂セルメヨ 鼎鑑ツ

災星合ナリ會 憤惋強ムルニ 市買ル 聚斂セルメヨ 鼎鑑ツ

大白置ク參朝ノ百官モ出入ニ 黜之ラニ 頓ウトウリ

辰星異甚重禍 席初ナリ漢書注 蓐ナリ重 地坐子ニカ

政証十八史略字類大全

卷之七

三十四

増補 一ノ安田 三ノ類カ全

坐スヨリテ 熾炭 沢山ニ炭ヲ 行酒 酌ト夜久テナリケ 睡不能著



一榻云々 心ハハ今腰カリ 挾クメ長キヲ 榻ヨリ外ハ榻ト云言



契ヲ丹ノ襲 削平 諸国ケル攻メ 世仇 不代々ノ 宜モツヤト 復命



祖ヲ祭 内附 中国ニ 沉毅 質ナリオチハ 勇ミタル性

普ナリ 不宜 官ニハ 命不宣 八百 不押班 普ハ列位セ 班又ハ

不第 進士ノギニミ 不差 尺寸 一寸モチ 其説 累數百 クワドリキ

臥榻之側 云々 劇ハ 一ハ 寝キ 睡ハ 子ム 宋ノ 天子ニ 諭フ

之所 ケヨキ 所置 ヲツ 字縣 赤縣 ナリ 猶天 下四方 也縣ハ 横羅鋒

鏑 矢也 鏑ハ 矢鋒 也 鋒ハ 衣衾 衾ハ 衣ハ 夜具 榜子 名刺 幹車 回

黄袱 黄色ノ 封緘 甚固 ムカ タク 封シ 章 政 文章 垂白

衛儀 儀仗 護衛 ナ 民力 殫 兵卒 ノ 召募 多ク シテ 百姓 ノ カ 豁達

改正 十八 各字 頁六 王 卷之七 太祖 三十五

増補一ノ田三ノ類ノ金

ハ市内穩ニシテ摸

乘快愉快ニツレ

指揮ツサシ

愚下至極愚

不分菽麥愚ニシテ道理ニ

苛虐

斷

洞開

營繕造ナリ繕ハ修復スルハ新

寢殿

壅蔽

邪曲

端直スクツ

軒豁

擊登聞鼓

陳乞

扈從扈ハ衛也從

增給

援例

直宿

妄訴イヒツタニ

配隸

革橫

禍難

不吝ハナハク

分理

革橫

不作

罷却羨餘マ費用ノア

幹濯之衣

綠葦簾

晚節

法網

密存

從祀

追贈

死節

不授節鉞

節鉞

節鉞

棄命

不授節鉞

節鉞

節鉞

倉卒

不授節鉞

節鉞

節鉞

依樣畫葫蘆

不授節鉞

節鉞

節鉞

草ノ屬状チ

不授節鉞

節鉞

節鉞

不登之政府

不授節鉞

節鉞

節鉞

選用

不授節鉞

節鉞

節鉞

銓ハ量ナリ

不授節鉞

節鉞

節鉞

ノ連累ニカ

不授節鉞

節鉞

節鉞

苛政重斂

不授節鉞

節鉞

節鉞

モツクリ塩

不授節鉞

節鉞

節鉞

ト人ヲ罪ニ

不授節鉞

節鉞

節鉞

シテギン

不授節鉞

節鉞

節鉞

新字ヲ加ヘ

不授節鉞

節鉞

節鉞

改正

不授節鉞

節鉞

節鉞

各ノ類ノ金

不授節鉞

節鉞

節鉞

各ノ類ノ金

不授節鉞

節鉞

節鉞

各ノ類ノ金

不授節鉞

節鉞

節鉞

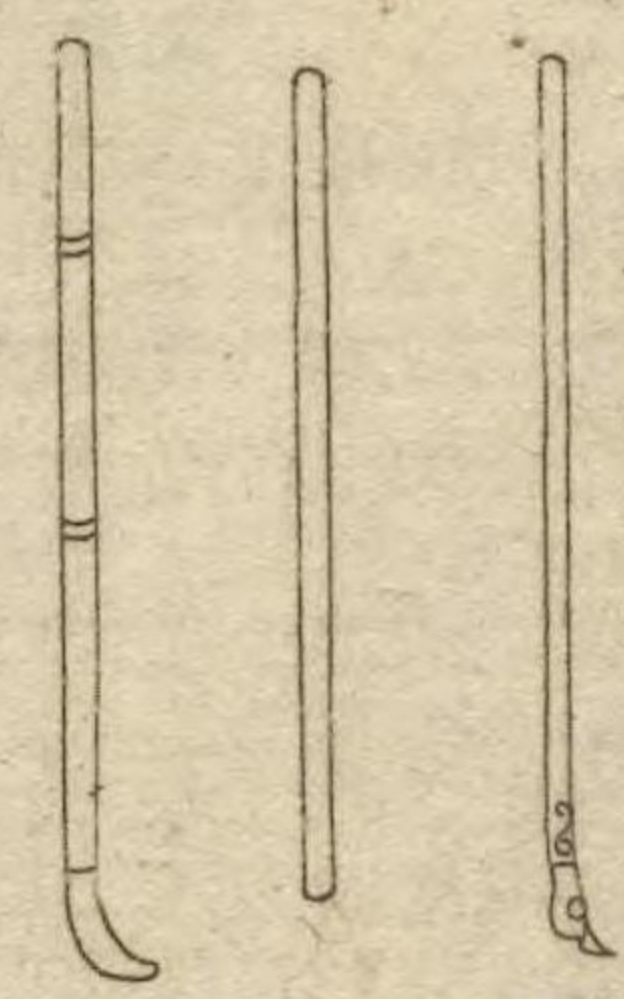
各ノ類ノ金

不授節鉞

節鉞

節鉞

杖之畧



ニテ人ノ戸鈔ナリ度民田不實田畠ノ檢
手ノアル者ノ人民ヲ賑饑飢人ニモノヲ蠲租
クノシバメルコト
子ノグコト
恐不及
ユキトツカフカヌカ
孝悌親

ヨク事フルヲ孝ト云フ長上ヲ親策制科擧人學史理ノ三
大切ニスルヲ悌トイフナリ

科ヲ策ニシテ擧ル放進士榜第ハ考官ヨリ進士ノ次
人ヲコトハ見ルコト

云フ放トハナリ覆試再ヒキニ書判拔萃唐時吏部士
ラハスコトナリ

弁書判取ノ四ハ其楷法道美ヲ取ル判ハ其文理優長ヲ取
者ヲ宋ノ初メ此ヲ拔萃ト謂フ遺書世ニアラハ日曆ノ記

制度オキ典章儀式ノ彬ルサガナ有條理混乱セズヨクト
戢トメリマ戒標掠ヲ禁スル妨餘慶ト云フ柴氏前朝ノ周萬
歳後ヲ死後社稷之福イハサ記心ニ忘レズオボ署紙尾人禮

トナリ奥金匱金鎖ヲ以テ其匱ヲ封友愛弟ヲヨクイ篤至
クコトツ灼艾エイルコトヲス龍行虎歩人君ノ相斥ハ子タ散

遺左右スルバ燭影下離席ヲ謝スル下帝八天下ヲ官ニ

テ席ヲ官家帝王ト云如シ五帝ニスト云ヨリ

起ヲ稱スルハ秦廉察ニツスルコト第ノ甲乙

弟ヲツ優劣罷軟ヲ云フ弱ナ不勝任ヤクニ愔

ケナルマ不親事分ニ手ニカハス自配者遠方ヘ者

不叙職叙ニハ叙ケヌコト口捷ヤキノイヒハ擧止チタ

マブイル雜類ニスギメイヤ其清望官望要ニ職ナリ待汝云々

子トナツテ後恩賞ヲオコナフ已誤ツモ祖子ヲ棄テ弟ヲ立

トモオソカルマシト云フ一旌カケ人ニ示ス其詰問ルツ金

講習書ヲ習フ其節ヘノ徳旌カケ人ニ示ス其詰問ルツ金

碧螢煌塗膏豐血天ノ膏血ヲ又リタテ造管スル解仇

中ナ移兵外途ヨリ軍ヲ土狹民稠民才ホキナリ不無賦外

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

改正十安田字類大全 卷之七 太祖 太宗 三十七

之科物定例稅物ノ外ノトコトテ霖潦マリアハ雨ノタ過ク度ノ分外

云雨ヲ積陰ノ之體水災淫雨ハ積陰ナリ如キナリ天ヨ越班進ミ出ヲ

ル若干顔氏日ナリ未定ノ辞ト云々數ヲ記註ニ見ユ大愍ハ

云ナリ大惡人ト容蔽テカバイダ以吏道聞評判事ニナレタル

箴甚推之正ヲ上座ニスハメルト蒙ク夾袋フハナガミ疏ケル

作事糊塗分曉ナラサルヲ糊塗ト云玉門廁役皆將相襄王

相ニハ下賤卑役ノ人モ將軍宰知州并州ノ刺史ニ求接加勢ヲ

要而擊之道ヲヨコギリ禪向フニテイカバア姑ヨマアクチ

譯可否擧鼓古ヘ軍ヲ出ス片ハ牲ヲ殺親征伐天子自ラ征駐

蹕天子ノ滯大挫ガオシヒシ渡河地黄河ヲワタリ契丹ノ力贊

出精シテス猶豫事決セズシテ麾如喪考妣父母ヲ失フ

オシガ不賦一詩退虜梁適詩ヲ善スルヲ以テ氣奪奪ツキト

ガシテコハ陷虜臣陷ハ降リ付テ復生心マタ仇スル使隻輪不

返人隻輪ハ車ノ片輪塵ニシテ一歲賂義ヲハ財ヲ以テ情交

誓約リカハ取浪戰メツタニ以軍法從事斬罪ニ有福福相祿

アル束手網鑿手束縛セラル如修齋精進ス待準目送目見目デ

クル城下之盟契丹澶州ノ北城ハ入リコミテ迫テ盟カフ

喚ニ盟フハ耻ベシ愀然憂シホレテ耻澶淵之役澶州ノ孤注

左傳ニ出タル文字愀然憂フル兒テ耻澶淵之役澶州ノ孤注

博場ニテ頻ニマケ最後ノコリアル金寢薄キツカ疎マシ

祐不做王祐ハ重職ニナラ三槐公槐ヲ前二植エンシユ

懷ハ懷ナリ遠人ヲ深沈オチツキ屬之セルヲヨ儲糧ハタクハ

米テ誇示刷恥ハ澶州城下ノ盟味ヲ云天瑞メタヨリ下キ信神道

フ道シギ天書降偽ル書ト云物ヲリ天ヨリ疾苦ガナンギ血氣方剛

ツ氣ノハヤリテ后土地神左傳昭公二群物ノ九年土正ヲ一ト

增補十史田白類
犬馬 犬ヲハナチ馬ヲハ
禱祠 封禪天書ナ
削髮被緇 髮ヲ

稱 犬馬 犬ヲハナチ馬ヲハ
僧衣ヲ着 歛 死者ヲ棺ニ
不能以正自終 正道ヲ守リ命終セ

吾榜中 吾ト同時同榜
面折廷爭 天子面前ニテ其非ヲク

風采 風儀ノ
方面之寄 一方ノ防
會食 食車スルテ
拂 拂フキ

愧恨 愧ハ心ニ
顛上帝 上帝ハ天ナリ
赤脚 大仙ノ神名
驗 驗ウシヤ
垂簾 朝母后

包藏禍心 内ニ心ヲモツル
皇堂 陵寢ナリ
絕地 懸絶ノ

春秋無將 春秋傳ニ云大臣ハ將ナシ將ヲアレバ

漢法不道 不道ノ類ヲ云上
快 快ト思味フ
寧 寧ナリ
眼中

丁 釘ニ通ズ釘恨ニ入レ
前 前ノ
發解 試中ニテ人ヲ

進士 經朝士ヲ取ルノ科目秀才アリ
禮部 禮部ニテ人オノギニミ

元三場 契著不盡 狀元トハ進士第一ノ名三場ハ鄉試會試

不在温飽 温ハ衣ヲアタケハカニ着ルハ飽ハ十

為重 重オモリト
弟爭立 弟ノ明提明祖

未嘗自異 高アレハ天子ノ生母ト
疾革 病ハ

無所發明 其任務ノハタ
斥 斥イヒ立テシ

無所建明 建

據有 土地ヲ横領シテ
阻 山ヲ前ニスルテ

無所補 上ノ下ノタメ

邪 小人位ニ居テ官禄ヲ貪リ功勞ナキニヨツ
相戒 互ニ告

小范老子 年大范ハ范雍ナリ小范ハ范仲淹ヲ云蓋シ

曾中自有數萬甲兵 仲淹謀畧ニ鋭フ

一韓 韓琦心膽寒ヲオソレテ肝一范 范仲淹不得大逞ノ十分ニ志

藉 根木ノヨリド
宣力居多 アリト云フアマタ
西夏之撓

改正 仁宗 二十九

劉平戰死シ官軍泛使數命ヲ帶ル石晋五代ノ晋ハ石姓接

伴應接陪抗ツタテ侵リ向フコム一國書天子ノ故為異同富弼ニ

口上ト書面ノ文言トワザ回奏カヘツテ奏面責更弊事

ト相違サスルコトヲ云ハテ引キ進ムル又距斯脫ヲ雞ノ距

コトシキ供茹斯拔善人ヲ茹ニ引キ進ムル又距斯脫ヲ雞ノ距

ハ他ノ雞ヲ害ス拊股歎息シテ膝怪鬼輩石介等壞事事ガ

散々ニ賜坐メ着坐セシムルヲ云フタ給筆札即坐ニ存ジ

立シム明熙陟ヲ官員ノ進退抑僥倖内願因縁ニテ富貴ヲ精

貢舉人選ル念厚農桑耕作ノ業ヲアツ減徭役人使役

曹恩信ニメグニ施ス公平宣撫ツクシムベナリヲイ造謗不安

起ルヲ以テ位ニ裁裁畧シテオサ内降ノ命下ル内々寢格

寝ハイツカスナクヤム一封還内降ノ命下ル内々寢格

一監ケメツ鬻故紙公錢ナ故紙ハ反古ノ紙鬻ハウル不便ノ勝手

ルキ置獄公事ヲ反覆無常降叛キマ一納款降伏ス策命ヲ詔書

封テ王爵ニ劾奏メテ罪ヲキハ燈籠錦織成スルヲ云不賢於夢

ト哉望ノ高宗夢ニ傳説ヲ得周ノ文王トシテ太公慨然心

タリテ憤嘆義遜避不已辞退ヲ類賞花釣魚宴太宗雍熙

暮春ノ遊近臣ヲ召シ園内ニ賞花誤コナリソ釣餌悟ク一ツ

既ノコリナ不情而遂非心ヲ吞ズム是非ヲ遂ルナリ重

名モ名譽オ不迫人情常人所作ニ違フ云姦慝邪惡ノ行ヲ

ラキ心ヲ三劊ノ劊子餘御臣ツカイノア揀軍ヲ疲弱ノ兵ヲ

規テ五ヶ條ノ保業ヲ帝業ヲ遠謀未ノ全策ヲ立ル一將謹微ハ物事

メニ注意セザレバ末務實則ノ行ナキヲ論承平オダノ中

ルカナ外遐崩ヲ云終始如一日シモ寢徳スル遺制天子ノ遺

莫不奔走皆々悲ニテカ固避ニ即シトスル一帝位舉措ノ日行

改正十女略字類卷之七 仁宗 三十

改常度天子ノ常例ノ事尤少恩ハリノナキイタ諛間カサ

護ト調停ナシ護ナスル康復疾ヲ本撤簾ハ政ヲ返スカタツケル調

空頭勅ナキテナシノ僉簽ニ同シ姓名第ナカナニ有說子

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

交論ハ交リテ解言職ハ言職ハ諫ヲ官解竟不決到頭キマ鞠外ニ

改正一各字負大正

英宗 神宗

中藏巧詐上手ニ中間ニ合ハ腹中ニモツ巧詐驕蹇人ヲオソレハビ

弊用ニ立ヌモフ不得其說其カラヌケノワ其疏彈文往マコト

示示朴野ルハカザリナキ野ハ野卑ナコト

泉府之法物ヲ取メ立テ并ニ物貨ノ滞フル天津橋府河南

散歩気バ行スル變通方ニ交通スル惝然顔色

舊トモトカラ南士王安石八南方ノ産ナ更變新法多カ

青苗時三分ノ息ヲ添テ還納セシムル法秋周官世

國服爲息法國服ト息ト國事服スル物ニシテ農ハ米粟

雖良民不免妄用善良ノ人遣ヒセリ惟稱苦々ガ爭論ノガナクタバシテ憤ル

違限ガ返納ノ限月鞭箠違限ニナレバツタリ不勝煩人罪

多ケレバ大勢ノ人ガ奔走唯稱苦々ガ爭論ノガナクタバシテ憤ル

折リ口舌ヲ以テヤ坐意ナルト云義倉キ郷内ニ米飢饉ノ助置

均輸法易上ノ供用ノ物ハイツレモ高價ノ物ヲ安直買物ニ

均輸法易上ノ供用ノ物ハイツレモ高價ノ物ヲ安直買物ニ

均輸法易上ノ供用ノ物ハイツレモ高價ノ物ヲ安直買物ニ

均輸法易上ノ供用ノ物ハイツレモ高價ノ物ヲ安直買物ニ

均輸法易上ノ供用ノ物ハイツレモ高價ノ物ヲ安直買物ニ

増補... 法ト貯蓄シテ以テ不時ノモトメテハカリ便宜ニ買

ハレ貯蓄シテ以テ不時ノモトメテハカリ便宜ニ買

ノ昂低ヲ吟味シテイ頗為異同ツヨホド安石トハカハ和買

ツモ平ナラシムル官緞絹詞頭李定仕官繳封物ヲ返御史知雜

ニテ取立ルテ物品緞絹詞頭李定仕官繳封物ヲ返御史知雜

唐制ニ御史臺侍御史六人久次ノ人ヲ以伊呂之佐伊呂ハ伊

テ雜事ノ知トス之ヲ一トト謂フ以伊呂之佐伊呂ハ伊

太公望ナリ佐免役家産ノ高下二應シ錢ヲ出シテ從他笑

ハ輔佐ヲ云ハ好官中書檢正詆訖ナシト保甲法十家ヲ保

罵他ハ彼ト好官中書檢正詆訖ナシト保甲法十家ヲ保

大保トシテ大保ヲ都保トシ衆ノ服スル者二人ヲ敢言フ

選デ保トシテ大保ヲ都保トシ衆ノ服スル者二人ヲ敢言フ

見ルズニ論提舉シハ館職策問下問スルシテ給散ケルツ格

格ハ沮差役カ田糧ハシテ役ニトズルヲツ募役免役法ヲ以テ

ルツノ大學三舍法外初テ大学ニ入ル者外舍トス定員ナリ

一上舍ニ升ル者市易法京師ニ市易務ト役局ヲ置キ官錢

之ヲユルニ或ハ官物ト折換保馬法諸縣ノ保甲馬ヲ養ハ

西ハ官ヨリ給病スレハ其直ヲ與ヘ年々其肥瘠ヲ方田均稅

シラブモシ死病スレハ其直ヲ與ヘ年々其肥瘠ヲ方田均稅

均田之圖 二十畝 世業 中丁 八十畝 世業 中丁

採訪ト云ベニテ邊候塚一里益斥地ヲヒ開ナリ察訪

戸民安悦ヲナスレ故ニ賦庸隨テ減シ人浮屍蔽江スルニ

死アサグホドリナテ江上檢討ラベルリ遷移流民トナリウ

勝捷之勢ノ威軍不相保五ニ助ケカ遷移流民トナリウ

困頻瀆寒難遑々不給遑々ハウツクナキ不給傳法沙門

ノ法ヲ師僧ヨリ弟子ニ傳護法善神喻フ呂惠卿安石ノ神

法ヲ保護手實法ムシテ隱シ漏スア田産ノ高ヲ具上セ

改正... 神宗 三十二

増補... 戸馬法... 與... 許人... 賞... 逆閉... 其途... 事... 二... 先... 出... 仕... 石... 再... 七... 宰相... 二十

戸馬法... 保馬... 法... 天資... 生... 問集賢... 賢... 曾... 公... 亮... 時... 二... 集... 典故... 西

廳... 義... 當... 如是... 聽... 容... 苗... 不... 便... 論... 論... 二... 八... 藩... 臣... 官... 鎮... 撫... 武... 臣... 十... 朝

顧命... 兩... 朝... 受... 仁... 宗... 英... 輔... 顧... 命... 遺... 詔... 定... 策... 元... 助... 策... 子... 立... 大

功... 沿... 邊... 其... 邊... 國... 界... 治... 起... 鋪... 舍... 鋪... 賣... 物... 賈... 肆... 舍... 市... 居... 字... 書

侵入... 新... 樣... 毀... 撤... 毀... 壘... 鋪... 舍... 界... 至... 管... 商... 之... 政... 齊... 秦... 管

商... 法... 鞅... 富... 強... 國... 強... 富... 兵... 濟... 其... 欲... 富... 強... 志... 欲... 豐... 器... 凡... 戶... 等... 第... 當... 爾

云... 置... 意... 發... 錢... 青... 苗... 錢... 業... 資... 救... 贏... 得... 途... 贏... 余... 計... 成... 來

草... 木... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

改... 正... 廿... 五... 各... 字... 類... 大... 全... 卷... 之... 七... 神... 宗... 三... 十... 三



云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

云... 意... 強... 半... 五... 分... 二... 云... 明... 法... 唐... 科... 進... 士... 斥... 鹵... 地... 云... 或... 云... 成... 來

増補... 官制... 元豊五年官... 國是一國ノ公論是... 遲之建儲ヲ太子

師保... 日昃大有為... 北伐契丹ノ喟然太息ス... 失律本義ノ

恢復... 北伐契丹ノ喟然太息ス... 失律本義ノ

永樂之敗... 永樂地ニ新城ヲ築キ夏... 衝幼ナキハオサ

岐嘉... 岐嘉ノ王額ナリ... 去ハトリイソクク... 包藏禍心

得無變... 變動ナク得タル... 東京戸馬京東西路保馬... 且播其説云云

物貨場... 京師ニアル... 市場抵當... 市場抵當時上

堤岸司地課... 汴河堤奉... 行ノ放市場

免行錢... 免役... 免役神宗紀ニ

錢ヲ民ニ下ル... 常平... 見解神宗紀ニ

保甲... 解ニ見エタリ... 方田... 解神宗紀

赴闕... 入臨... 以手加額... ノゾミ見テヨ

活百姓... 弊政ニケル... 懼心疑ルノ用... 剛果ツ根ノ推

自礪... 所ニ在... 懼心疑ルノ用... 剛果ツ根ノ推

意思... 一般... 灑落... 光風霽月... 推擇ソレカ

改正... 各字... 卷之三... 哲宗... 三十四

増補... 二聞クヲ得テ以テ其身ヲ善名ス

千四百年之後孟子ノ時異端釋教ヲ云ハ玩心アツカヒテ加一

倍法四象ハ司馬十二司馬傳送其言論ヲ伊川先生程頤ノ晩年

水ノ上ニ居其言論ヲ惘然アテニシタ救焚極溺

念ガル姑稍ナリ父子之議新法ハ感涕不已

礼ニタガヘリ拱手夷然自持持ハ朝俛

印板木妄語キテ諸譎ワルクケ領袖ト袖

大臣安石散地閑散入骨骨マ過嶺賀嶺荊棘越テ

其黨ノ頭領ト云羽翼オモ政正ニ交章互ニ調停和

丁平舊怨老身宣仁調戲ナニ官家宗哲

録曰京師社飯祭ル不比外家宣仁

一匙思量老身シワ擁佑カ私カ西蕃鬼章西蕃

王一家マ不比ハテ私カ西蕃鬼章西蕃

長章ノ其首迹見共載同以漸ナ無事

虛日一奪贈贈官連テ以漸ナ無事

改正... 三十五

鐵ニシテ節度使ヲ免セラルルヲ云

太皇太后 英宗ノ后ナリ

追停冊禮 封集覽ニ冊ハ納ル書也皇太后命之ヲ用テ諸王ヲ

讀之待郎持テ之ヲ授ク名族 名家高キ除名 名前帳ヲ

メルトバ 羈管 來ノ法面ニ入墨セシテ他ニ移ルヲ許サス

嶺ハ五嶺 隱黙 論ヲ發ルシ沈 官京師 京都ニ奉職サ

傷寒ノ病 無自沮 自ラナト戒ムルソ 浪子 聊浪放蕩ナリ

不瞬 區々精神 區々太陽ニ對シテ區々ト精神ハ氣ナ

陽云日ヲ連疏攻之 其惡事ヲセメルテ 紹述 跡ヲヒロゲル

意向 イコ、口 祖 根 本 不 相 統 致ニシテ一 生女真 諸

蕃中國ニ近クメ 歸附セル者之ヲ 籍 罪人ニシテ 國命 命ハ

義 常相排 排ハハネケル義 無損 又カハラ 相軋 キシレ合フテ

書故事車重キヲ載セ輾軌シ 倡 ヒハナニ立チ言 豐亨豫大之

運 易ニ豐ハ亨ル豫ハ樂シム豫ノ盛ヨロシク遊樂ヲキル

ナメヨト 奉安 エルキ 水漏于外 北方蒙古ノ爲ニ國欠ケ

山 輟耕録曰山ハ大内西北大液池ノ陽ニアルニ國欠ケ

疊 累 領 領イシハ 花石綱 ムル怪石ヲ四方ヨリ連ニ貢獻セシ

一 綱ト云又凡ソ官物云無遠不致 遠方タリハ引ヨ 麋 良 嶽 城

ノ 良位ニニ云 青帘 シ酒ウリバタ 放燈 火ヲト 縱 サセノガマナリ

麋ノ畜 飲博 博奕ヲ飲タリ 元宵 正月十五 星 芒 星ニ尾ア

ノ 類也 河決 決ルハキ 誣奏 トナキ 奏 奏スルアリ 祥雲 デ

シキ麗 蔽空 空ノカク 鶴ノ飛ブト 連理木 本ハワ

ナルツ木ヲ 稱瑞 トメタタルト 應奉 事ヲ奉ズルト 蟲



増補... 左傳ニ女男ヲマドハスヲ謂フ又
腹中ノ虫ナリ内ニ障導ノ起ル
苦メ竊威福於中威權ト同ジ中ハ
ルテ威ヲホシヒマ開邊ヲ夷狄ト
ハニスルコトハハシメハハハハハ
テ威ヲホシヒマ開邊ヲ夷狄ト
ハニスルコトハハシメハハハハハ

復燕之議 石晉契丹ニモドス
一ツツキ 札ノ契約 付スワタ
ト云ハキ 札ノ契約 付スワタ
此ハ宋金 就招安 朝延ノ招ニヨツ
此ハ宋金 就招安 朝延ノ招ニヨツ
此ハ宋金 就招安 朝延ノ招ニヨツ

銀二三十万匹 百萬錢 百萬
同知府ナリ 續文獻通考 徐々ソ口
考ニ同知ハ知府ノ貳 徐々ソ口
クノ形ノツ 催セリ立カ
下麥苗乃在山上 地卑ト地ナ
倡樂 居狂言 鬪鷄 擊鞠
兩手ニ鏡ヲニギル姿ソレ
ニ類スルコトナリ 范然 范ハ
云フ 疊見ギタハ事アケテハル
云フ 疊見ギタハ事アケテハル
云フ 疊見ギタハ事アケテハル

改正... 宗 欽宗 三十七

子ノ一未タ天子云無失德無事ナシ調法ノ

欲動揺不可ユス太子位ヨリオロサントテイロク伏闕禁内

謝天下ワ人民ニコト根括通尺ヲ以テ現地ヲ云伏闕禁内

樂尺ト云ヘル新尺官ニテ入ル量其破蕩破人民ノ身上ヲ御榻

天子ノ高御座ナケリ狽王廟日本ニ社ナリ犒軍中ニ物ヲ贈

表段ハ表綴帛連發三矢皆中答モ答ハ終ヲ受ル坪ヲハ三ツサト

勤王兵王事ニ勤支持レコトヘ劄寨俗寨ヲ立ル玉篇ニ劄劄ハ

針ヲ以テ俟困金人ノ退屈マツ孤軍應援後軍角校ナリ虜人

括クトルリ藏蓄積ニタテテ、不時ノ仍ヤハ通リト云是マ

困賈云物數ノ少ナキヲ置ト云困六甲法六甲トハ甲子

甲申甲戌ノ日ヲ遁レヨケル即チ遁術是ナリ或説七

甲ニ合ハセ隊俄頃意ハトリコ三不引餘兵殘兵ヲ列

披靡伏字典震護駕突圍天子ノ駕ヲ守護シテ敵中齧而食

切サイテ肉ヲ細カニ卷戰町小路ニ誤戰守之計金人トヤカ

ケテ宋ノ戦守ノ仕ク二帥金離ノ粘罕幹今上宗欽或可僥倖一

ベシト云フ幸モアル祚福祿長久ヲ祚ト云死於封疆封疆ハ國

ノ國內ニ戦死セ冊採持上皇ヲトリカコミ胡服願南京

即チ應天府

南宋 高宗南京ノ應天府ニ即

蠟書蠟丸中ニ密物色画サガスタヲ以掲榜高札ヲカ措身ヲ

安地安心ノ場所ニ探報敵味方ノ情實ヲサ風霾風吹テ土

ヲ覆薄暈日ノカサ惨怛イ肝ヲナ事ニ逢フ若有所得思ハク

ツタト云ヤ改正天子去ル号易服帝玉ノ服漢家之厄十世ノ

ウスナリ云ヤ改正天子去ル号易服帝玉ノ服漢家之厄十世ノ

十世ハ哀帝ナリ宋ハ太祖重耳之尚在重耳ハ晋獻公ノ歸

ヨリ高宗マテ十世ナリ

改正十史略字類大全 卷之七 南宋 高宗皇帝 三十八

增補... 卷之七

省尚書省二歸リ臣位 使臣名勳 竄來宋へニゲコ 道君手

札道君ハ徽宗ノ手札 即真天子ニ趨ナリ俗 邊防防地ノ

軍政軍ノオ 略有緒 アラカタ筋ノ 經制スルレ 兩河南北河

道連呼バツケテヨ 過河金河ウタリ 念フ方ノ 報スラニ相

手ニカガハル兵ナリ 殿二兇苗傳劉 反正高宗ノ位ヲ復 刺血

指ヲ刺ステ 臨安府南宗ノ都城故 吳越王錢氏ノ在 裾衣服ノ趙

氏鬼ノ國姓ハ趙ナリ 誘諭累日 降參 俘獲俘ハトリコ

相持双方戰陣 求假道道ヲアケテ通シク 次早次日ノ尾

擊之跡ヲ慕フテ追 躊躇進退決セ 移檄急書ヲツ 問罪何故

ヤト問詰ル犯ナリ 調衆ニ擇ヒ發リ 六路兵同州 鄜延環慶

ナリ兵離所部 手敗走スルト別 訪ツオレト 挈全家ヲ引 節制河

南河南一道ノ軍政 席卷リニカスラ 九ト 罷其兵柄 重キ軍職

軍情軍兵ノ 悵悵念ガ 昌言アハハ 顯ノ意ナリ 聳動ハ

オドロキホテ不意ニ立アガリ 意 浮梁舟トスラベテ 沮止

人オ驚クホテ不意ニ立アガリ 意 浮梁舟トスラベテ 沮止

船之圖 恢復遠圖 國家再興 扼ノクルト 拔寨テヲリ 賴牽制ト

小ヲドリシテ勇タチ自ラ 除是飛來 除ハ俗語ニセヒトモ

字ヲ引立戦ハント思フ 除是飛來 除ハ俗語ニセヒトモ

窮蹙マユキツ 赴水死 湖水ニ身ナゲ 防秋 此弟秋ニ至リ 奉粘

ニナレバ其時ニ乗ジテ中國へ入寇 縱飲酒ヲヤケノ 奉粘

改正... 高宗 三十九

增補廿四史略字類考
卷之七
提兵ヲ引マ
可
觀
茂視他帥ガ外ノ大将スルナ
衆情洵懼タ人ノ心サル
星馳急流
望風潰去ノ味方敗軍
五國城千里此ヨリ東分シテ
屈已下之相分ノ身ヲカバ
内艱死母ノ力起之ニ召
以言罷議論合ハルズ
爲間者トハシ
左衽

臣見レバ陪異日云後フト豺狼無厭
夷狄ハ皆左ニス宋ノ人陪臣降レハ宋ノ百官ハ金ヨ
尊號天子ノ号ヲ拘囚トリオスルコトメシ
諸事横柄ナルヲ反側トモガ
就シムルコトナリニ等夷不相下ノ附合シテ頭領簡倨
答ケ返答相應スウ嫌隙合ヲ構ヘテ和
國トナル拔起ラリテ屈已下之相分ノ身ヲカバ
見及ビ備ルツ右相張俊ヲ阻ラレトメ
督光世様ニ後見スラヌ阻ラレトメ
保必勝極メテ勝ヤアルナリ
衆情洵懼タ人ノ心サル
星馳急流
望風潰去ノ味方敗軍
五國城千里此ヨリ東分シテ
屈已下之相分ノ身ヲカバ
内艱死母ノ力起之ニ召
以言罷議論合ハルズ
爲間者トハシ
左衽



犬豕喻フニ佛然達ヒ怒ルカ堂々高遠整相率皆
招諭江南降伏ヲス、云招諭トハ臣妾
附會ヒユクリ順ガ竿首ヲ竿頭ニ
小朝廷宋金ニ降レハ屬國ノ王ナ
活邪命ヲ投ジテ死シ荷モ治
部夏兵引ツレ兵卒ヲ坐誅逢テ罪ヲ受
渝盟ス約ヲ愛班師軍ヲ
取旨ウ差圖ヲ抵書爲河北圖
速赴獄及フトコ口則チ之ヲ追捕
速赴獄及フトコ口則チ之ヲ追捕
速赴獄及フトコ口則チ之ヲ追捕

正朔ヲ金ノ制冊命宋國ノ玉詔書渝盟ス約ヲ愛班師軍ヲ
隸御前配ニスル直支取旨ウ差圖ヲ抵書爲河北圖
構成コシラ速赴獄及フトコ口則チ之ヲ追捕
梓宮ノ棺ヲ入ルテ天子ノ内叛
不得逞ナラズ事ノ扼腕怒ルテ表ス異議之人和ヲ破
僻在辺鄙ノ地爲十四路西大名河東北南京兆鳳翔
高宗
四十一

改正一八各字類考
高宗
四十一

增補十史... 藏畫工... 使者宋二來... 其中ハコル

廊延慶原起大獄... 大公事ヲシテ... 藏畫工... 使者宋二來... 其中ハコル

臨洮... 起大獄... 大公事ヲシテ... 藏畫工... 使者宋二來... 其中ハコル

ハスツカ... 臨安... 高宗ノ名ノ海鯨船... 其艦中ニアリテ車ヲフミ以テ舟

ヲ見エサル... 但船ノ置ク船ヲ見テ死闘ノ必死入譙京... 今州府ナリ

オドロロイテウ... 尋和議... 尋ハ以前ノツバキコト... 崔府君... 漢後

ノ崔瓊ナリ... 瓊後世神ニ祭ル... 擁一羊... 生マレニ歳ヲ以テ識適

的ニ同シテ... 力丐罷... テセヒトモ辞職スルヲ入謀報告知ス

不相能... 不犒士... 部下ノ士ヲイ許國之士... 命ヲ捨シ

カト兼テ念頭ニ... 白首不渝... 髮アタマニナ付其二子... 付ハケイ

リルナ... 袂葬... 合葬ナリ... 迹見ナシタル処ヲ證拠ノ問金主起居... 膳ノ増損ハ食

ヲ処ノ安否... 館伴之屬... 諸蕃使ヲ饗止... 位ニバシ意思ヲ其辭持重ル

起サシク兵ヲ云... 虛誕... 大言虚不效... 功ノ見善類... 善人ヲ主張... 字典ハ

宗也廣雅... 經筵... 王者講読還魂... 程願ハシクタト云フ尊魂... 趙鼎ハ

面ヲシラサレトモ其學ヲ崇ト強魂... 程願ノ學ヲ強時好ヤハ

ノリモ... 冒此名... 道學ノ名目ヲ見擠於世... 世間ニ惡ク才特旨子天

ウケケン... 改秩... 格式ヲ改メ奉祠... 潭州ノ南岳廟監タリ熹初チ

特旨ヲ以テ... 治州ノ入館... 集賢院秘書閣修撰ニ除セタル不就

崇道ヲ主... 管州ノ入館... 集賢院秘書閣修撰ニ除セタル不就

官職ヲウ... 浙東荒... 凶作飢提舉... 領助掛リノ首過闕... 出立ガケ

ケス... 振擧綱維... 綱維ハ政ヲ振ヒアゲルテ廢ヲ學有悟入... 靜坐工夫

ル... 從事訓解... 古今ノ義ヲ明ラメルテ書ヲ意見シケン頗立異

悟ル... 從事訓解... 古今ノ義ヲ明ラメルテ書ヲ意見シケン頗立異

ヨホド朱熹トハカハツ會フ彼ト此ト出合奉德壽... 時二高宗

夕学風見識ヲ立ル... 會フ彼ト此ト出合奉德壽... 時二高宗

居スル奉ハ給奉几筵... 親シク祭典ヲ修ムルヲ云几ハ退讓リ

事スル奉ハ給奉几筵... 親シク祭典ヲ修ムルヲ云几ハ退讓リ

太皇ト終喪制... 三年ノ喪ヲ相終始... 始終カハ得休息... 戦争

ナル... 終喪制... 三年ノ喪ヲ相終始... 始終カハ得休息... 戦争

ル... 彼此... 此ハ金無可乘之... 農附入ナルスキ齋志... ワイツモ其事ヲ

改正... 各字類... 高宗... 孝宗... 四十一

太子嘉王太子嘉王嘉王太子嘉王太子嘉王嘉王太子嘉王

造誣罔造誣罔造誣罔造誣罔造誣罔造誣罔造誣罔

後宮暴死後宮暴死後宮暴死後宮暴死後宮暴死後宮暴死後宮暴死

不能執喪不能執喪不能執喪不能執喪不能執喪不能執喪不能執喪

危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼危懼

宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社宗社

難其人難其人難其人難其人難其人難其人難其人難其人難其人難其人難其人

講說開導講說開導講說開導講說開導講說開導講說開導講說開導

傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心傾心

御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆

皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸

不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞

駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭

宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命

相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊

謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷

鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬

偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學

雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪

事事事事事事事事事事事事事事事事事事事

不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面

消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮

擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿

土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木

作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章

職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職

累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮

負負負負負負負負負負負負負負負負負負負負負

追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱追縱

太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇太皇

建翼戴之議建翼戴之議建翼戴之議建翼戴之議建翼戴之議建翼戴之議建翼戴之議

一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日

不能視疾不能視疾不能視疾不能視疾不能視疾不能視疾不能視疾

御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆御筆

皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸皆有漸

不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞不次之賞

駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭駭

宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命宮祠之命

相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊相吊

謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷謀危社稷

鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬鷹犬

偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學偽學

雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪雪

事事事事事事事事事事事事事事事事事事事

不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面不刺面

消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮消沮

擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿擬乘輿

土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木土木

作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章作詩九章

職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職

累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮累朝遠慮

子孫ヲ蜀ニカヘサバ旧恩ヲカタラヒ及ビ逆ヲ企テシカ
ト遠ク思ヒメグラシテ歸國ヲユルサヌコトヲイフナリ

有異志アルホニ心ハ關外四州ハ階成關ナリ凝血血ノカ

志シス九游キウイク白旗ハノ國俗白ヲ尚トブ遊ハ旗ノ旒也通謝國

二使ヲ通ジラフビ誅兇ヲワルスモルコト僂曹建密策密ニ僂曹ヲ

口旨ムチ從中出者内命禁中ヨ擁コトリカ推殺ウチコツクニテ

斬罪ル一決配配ハハ流罪略地ク取ルヤス南嶠ニ金ハ元ノ南

吐ニ向ヒケツルバラ中原皇帝金主ヲ天上人做ガナ子ハ天上ノ人

云フ策馬策馬驅其馬立馬ヲ追阻テ外ノルヘタ自廣ゲルコラヒ口黄

榜勅黃紙ノニ召シタハメシ弓手ユミノ兵方物土地ノ徇地ラ土レ地ナ

ルカコシテ取降符符ハ端ルシ即宥疎ノ計ラヒナク其三邊

東西北ノ被其擾逢乱ニ謙恭仁儉謙ハ已レ屈シテ物規格

不可容ユス為之計計貴和ヲ退ケル弄ニスブルモノ聚嬉子共ノ不

效ナセストニマ子ヲ取ツ迎ヘトリタ應得舉貢舉ニア外議籍々

外朝ノ議論衆多ヲ事不克ラヤリツケ相失和氣合ズシテ以問

罪為辭云フ人ノ罪ヲ正スト擣汴京汴ノ都一如神運用

庸人ノ意外ヲ出テ勝利勳績ア功勞ヲ積國事無所屬定マラズ

誰ノ二屬キベキ奔喪リ太祖死スルツトム以テ都ニ歸朝儀朝廷ノ尊

屬元ノ大臣ノ傳命ス音信ヲ上元張燈上元ハ正月十五日燈

上二燈ヲトモスト此風俗漢ニ亂槍アマタツキ假道攻ル

道ヲカ道襄陽道ハ字典ニ慶戰傷多キヲ殺十四年ノ十四州

宣和海上之盟宣和元年宋ノ使者海ヲ盟約ヲタツテ金國ニ迄

以取禍金ニ攻メ惱マサル俟成功上ト云フコト十成功ノ

襲封封爵ヲ整修旧式ノ修覆スルオチ渾天儀天文ヲ南北南北

元ハ自經而死死スルクリ刺日メ日限ヲキ方興之敵元ノ最中盛ノ

ナナル突進不意ニ進退失據致兵招ク乱ヲ勤饋餉兵糧ヲ送

スル方爾今ニ事ニ向フテアルヲ云爾詭辭無幾守兵

ナキ生兵新タニ出タ太子貴由金元ノ諸王子皆潰戰ハス

レノクツ印造板ニエリコ交鈔紙幣唐ニハ券ト謂編脩所

クアミツ經籍所ヲ書以下ノ書物攻哨哨ハ捐ニ通ス一説ニ掠

秦晋ノ西鄙冀隴ヨリ西ノ方言ニ犬ヲカリ湯沐之賜湯沐

暇ヲ賜フ時ヲ云フ其間テ來ノ義トス詔經筵經筵ハ

度ニ賜フ稅ヲ賜フコトナリ將來サキレカ詔經筵經筵ハ

フイ本貫郷籍魁梧身体長大勇悍字書ニ云勇ハ果決微時卑

ナナル時遺履ハキス尺有咫八寸ヲ八寸ナリ驚訝リシツク

フシニニ太極書院書院ハ學校ナリ粹マシリケ周子

伊洛諸書伊洛水程氏兄弟居ハ地ナリ粹マシリケ周子

祠祭ル二程程伊張楊張橫游朱游朱配食周子

ルセ祭失盜不得盜賊ノ手マ去處ハ語助ナリ本路事アリシ

亡命オカケ罷徵ヤメリ官民ム事人ツト羊羔利利金

ス羊ノ羔ヲウミテ蓄息七萬六千錠錠ハ金羊羔利利金

ノ如シ斤四兩一錠ト日ノ狀千氏子金子本相俸而止子ハ

本ハ元金相俸而止ハタシ金ノ類ナリ子金子本相俸而止子ハ

ニ進メ元金相俸而止ハタシ金ノ類ナリ子金子本相俸而止子ハ

リ著為令禁令トス寬弘之量ヨクツ物ヲリ容シタル心ニテ擧

無過事為スコトニヤリ治平下政治マリ天思史嵩之之言嵩

前年師ヲ論ヲ思フ丁父彌遠憂丁憂ハ父ノ死去ニ訃

ラ起復出仕サス目為權姦權勢アル姦徒ト防秋元

入御寶空紙御寶ハ天子ノ印章空紙自書填番刺合

防御寶空紙御寶ハ天子ノ印章空紙自書填番刺合

カ印ノ白紙ニ隨意施行ノナリ憲章ハ先例奈糸ノモ入ク

改正各字類考卷之七

增補世英田守類考全 卷之七

奏准ハハ勛舊ル旧曲マケテ心リ心ナラスム英邁エイマイノ徳行常

人ヨリコトスグ復出ハルカニ人表ニウチノ上ニコシタツテ常人案牘アン満ミツ前ノ諸書ノ付山

ニアルコト酬答アヘンタウツ以身ヲ徇シテ天下ニ一身ヲ抛ウチテ忠ハ功ヲ

ナリガ身ヲ以テ物ニ利病ハハ為スチニナル一ノ休戚キキ外ヨハ存

方ニオモムク一ハ温恭ワカ格シトクヤカニシテ氣溢ア干外ニ十分顔

色ニアラ自持ハカク守ルト云一六皇后ニ尸位シ是時乃馬宗ノ

氏モ先祖ヲ祭ル一成ヲ仰キキヲ施スルニ以テ一ノ屈出クニ曲出

有異同者ハ所謂ハ異ト云一同ト羈縻キマ牛馬ヲツナク屈出ノ曲出誤

一自任テワスレル一ウケオ不世出キ世ニ沢山ナナ虚己我情ヲ張ラル

言ヲ聞ク序次大經ノ經ハオリモ大道ノ理ト云一ノ彙物ヲ一ツニ本本

末八目ハ本三十三兼諫中ニコメモツヲ兼ト云一ノ細大不本

遺大小キトモ動ドウカスルトハ見詢問カケテ其レアタ一ノ厭讓

失烈門ヲ帝位ニ即ナリト並賜死言ヒ付ルモコト自害ヲ河徒無常

黄河ノ筋一水害ニテ水流瀉鹵生之瀉ハシホノサヒキスル地

地ニキステ作物天府天然便利ノ陸海如ク地ノ廣大ノ産物海ノ潜通ノ

北境ハ北京ハ元國ヲ云潜通承吉余晦ノ内意鍛成之罪状ヲ

一ハル逆流而上ル血吹アガ恍惚ノウツキマリトシテ夢現與惟忠

還死附漆タル退出スルコト理筋道ヲケオサメ重築城

ツクフタフ一ビ平曠之地高下ナキ分治險要ヲ要害堅固ノ土地ツ

ケテ一州ヲ鎮守民藉以安シ人民余珩ヲナスヨツ今負繆貪ハ欲心

筋テ止マラス一ハ胡打鬼ノ胡穎打鬼ハ鬼神享饗同題題

疏題ハ書記スルナリ疏ハ纂縁疏ナリ奇怪相宅居ノ吉

ル一ム珍珠傘テメ飾レラニ珠ニ二哥ヲ阿答滄剛明カ物ニタジ口

ナキラカ雄毅人ニスグレテセヒフニヤ沈斷決断ヨツキテ寡言言

改正十カ各字類考全 卷之七 四十五

ナキラカ雄毅人ニスグレテセヒフニヤ沈斷決断ヨツキテ寡言言

ナキラカ雄毅人ニスグレテセヒフニヤ沈斷決断ヨツキテ寡言言

增補... 守類... 卷之...

モノカズヲ 後靡オゴリハ 政出多門 權臣多クシテ政起草

イハヌト 獎諭ホメソ 驕逸ルヒゴリテク 隨至テスグハルニ付

云 張堅守 名ハ勝ナリシテ 龍衣尊號 天子ノ位 正位號 天子ニ

天都 開平府 逆大行靈昇 天子ハ憲宗天子崩シテ未ダ諡號

柝車 會喪 會フニ立 安輯 人心ヲヤスシ 形勢 アリサ 大寶有

ナリ 歸 大宝ハ帝位ナリ有 歸 候 異愛アラント見 匿 ナイニヨゴ

ク 江面肅清 清ハ乱ノ江ノ辺ナリ 肅 休 存外ノヨキ 再造功 家國

ル 再興ガラス 中統 交 鈔 中統ハ年号ニ至ルハ 楮幣ナリ其法十文

通 張スロク 西軍 阿里不哥ノ 稱頌 其テホガアラゲトハ 徵 徴ソクイ

スル 恩威並著 恩義ト威勢ト併セ 盍 何音ノ 構難 合戦ス

遺黎 生ノ民 俘略 生ドラ 一視同仁 南北ノ人民ヲヘダレナ

ム 微軀 トワガ身 不測之淵 敵地ニ入テ 淵ニユダニルノナキヲ云

弭兵 軍ヲ半途ニ 靖 靜 諷 馬ヨソゴトケルテ 沮撓之 殺マテナ

シ 中途ニ 假手 宋ノ手ヲ 呈露 世ノ上ヘツキダサレテ内 爲

辭 李壇カ侵犯ヲイ 拘留 へト出サテ外 獄 狂 屋ヲモ 獄 介 佐 同行

ノ 役 將命 救命ヲ奉 在彼 指ハ天 辱 人見ノワル 中州 宋朝ヲ

須 命ズルセヨ 宋 祚 宋ノ義 振勵 氣ヲフルヒヲコシテ 事

軀ガコト 容ニユルトシヤラ味 狗 順ナリ 倘 儻ノ俗字モシヒ 交 鄰

國之道 附合ヲ云フノ 忌害 忌ハハ 傷ナリ 禍ナリ 打算 計筭ヲシテ

ラ 事ヲ遂ケル意 汚之 間臣ニ汚名ヲ負 坐 侵盜掩 匿 官金

カ 罪ニスミオホヒカクスト 徵 償 セメハ 納 ヲル 累 引カ、リ

云 罪ニスミオホヒカクスト 徵 償 セメハ 納 ヲル 累 引カ、リ

カ 徒木 秦商 鞅 二卵棄干城 衛ノ苟 壹ノ故事 徒木ニ卵ト

隣國 元ヲ 遷蹕 元冠ヲ他州ニ迂シテ 斷 橋 敵ヲキリセクト宿

憾 宿ハ前カタトイフ義 壓 境 敵軍ニテ 境ニ逼ル 一 說 兵 誓

憾 宿ハ前カタトイフ義 壓 境 敵軍ニテ 境ニ逼ル 一 說 兵 誓

改正... 四十六

留ルトトメ 基業 國ヲ建ル 守成 國ヲ守ルタル 治道 天下ヲ創

始シ仕メハ 格心 ア道ヲ以テ心ニ 防虞 ヲ立ツルヲアラントソナヘ

構ヘスヨセヌ 歎 ヲ凶年 黒灰團 アリク徳色クロキ故ニ此 緇 一 号 置

權場 クハフルツ処ニ 兩申制置 兩申ハ二度申立ル 方達

申立ノ書ガタツ 今 芒角 星ノ尾ノ 燭天 ル空ノアカ 蚩尤 ノ彗星

尾ノ光旗ノ如シ見 遭論 ラ論破セ 消長 ラ消ハ退 罷セ

兵革ノ難アリト云フハルコト 遭論 ラ論破セ 消長 ラ消ハ退 罷セ

ウシナフ得ル朝ナリ列 燕京 太行アリ左ニ 滄海アリ正

南面ヲサタムソミ 狼狽 ヲウロタ 寢 クイツトナ 相猜 邪推ス未

及更變 華スノ罪ヲタツミ 時政 ヲ変 臨御 即位ヲ 崇奘 周

溪 程 伊明 道 張 渠 朱 庵 張 南 呂氏 義 自副 添人トス

ル 過 メヒキト 哨掠 スウバヒカ 不赴堂治事 政治堂ニ入テ 相

呈署 他務ヲ以テ似道ヘ封達スルナリ 書紙尾而已 端紙ニ

名前ヲカキ 彈劾 罪責ノ 薦辟 薦ハ辟 劾 舉削 舉ハ削 官ニアゲ

削リ罪 關白 一切ノ事ヲ似道ニナ 貪風 貪欲ノ 大肆 思フマ

ルヲ 喪 無替 誓ハ議ナリ考也 賞罰 已レニ 告急 敵ノ急ナル

ヲ注進ス 道不通 元兵其通路ヲ 三學 文学武学宗学ナリ武

法ヲ学ビ其格ニ合フ考ハ 考試 ヲ受ルナリ 宗学トハ 諸王

弓量推排田畝 弓ハゲ 祖稅ヲ増ス 推排 八田地ノ畝歩ヲウチヒ

肘ヲ一弓トス 三 字學 新製ノ 楷字 畏 吾字ヲ用ヒ 校初メ元國

時ハ合同馬ニ命シ 誣以他事 ナキトイヒ立 箝制 自由ハ

儀羽 儀ハ儀表 腹心不在 望シハ表ムキノ羽 翼カザリニ

云フ 廉介 潔白ナ 蹊徑 似道ニサヘ取入レバ 斯グニ望ミノ力

ナリ 吝賞 ヲ賞賜ニシ 誅貨 貨財ヲセメハ 失將帥心 望ヲ失フ人

一 經營 テクミタ 虚實 ヲウスト 相繼 ク引ツバ 粉飾 太平 天下ノ

改正 御田守類聚 卷之七 理宗 度宗 四十七

醜婦ノ脂粉ニテ面ヲヌリカザル天子ヲ欺クタトハバ畧不

爲意イサカモ太丹イサカモ等ヲ藥ナリ朱砂シヨウサ雄ユウ黃ワウ空クウ青セイ誑惑コトダマシ途

方ヲ失ナ不假靈カハラ奇キ特トクヲウ無上ムジヤウガ天子テウジヲアナルドコトナイ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

此コレ由ヨリハハソレヨリノ三者サンサウヲ指ササスス誕タニ齊セイ景命ケイメイナルハ大命ダイメイニアリ

改正 度宗 四十八

不肖調援兵ヲソノヘテ出テタス衣裝薪芻如幣二造

無所措辨調達ナ撒廬舍廬舎ハ家宅撒ハ緝閑楮楮幣如幣二造

紙ヲ關楮ト云緝ハヨセ累章ヲタビク出陣ニ願文陰諷朝廷如幣二造

以爲要君ル要ハ挾ミテ求人例ナリ類ナ銀線菜ノ和名フカ

強於自治コシモチノ堅固ニシテス公愛兼盡キハオモテム

慈悲ノハ整ニソチヤウメニ化之許衡ノ德行ヲ見ナラヒイ

壽汝祖宗之嗣度戒弟ヲ授ルテ僧隨起復スグニ喪服ヲ又器

使器量相應ニ任端座坐スルク驚悼小心慎密ニ用ヒコマカ

陰陽術數之精術日ナリヲ推考ニ吉凶ヲ判断スル南侵

附奏奏聞スルナリ欺ム大節義烈

忠亮忠ハ内ナリ心亮諒ニ同ジ信也大節義烈

出入將相朝ニ入テハ宰相トナリ柱石ル國家ノ輔トナ

四朝憲宗世祖太宗師表ホノカバミ手百辟官欽迹ヲ身

浼江江邊ノ部曲シク憤死起憤激死テ病ヲ遷延ヲ事

行在臨安ノ力迂道一日ハリ道シニ行キ戦ヒヲ牽

制トリガママリサセ又様無固志致勇氣ヲオトシ一竭轉官資

官資ハ官ノ品位謁轉ハ詬罵ル要做甚ナク其旨意ヲ問ツ

已未庚申官資何在帝ノ未ハ理宗ノ開慶元年ト庚申ハ同

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

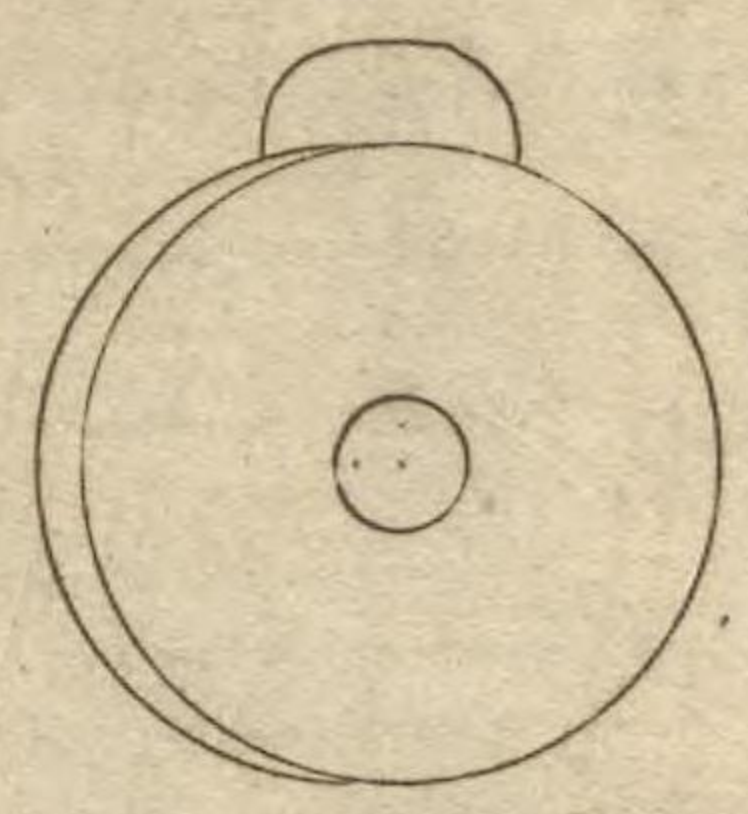
羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル

羅行軍式兵ヲ進ムル



鑑之圖

改正史略字類卷之七 度 孝恭 四十九

增補... 卷之七

備ナキ 晦冥 日輪カクレ四方オ 略無備禦之策 元イサハカモ

尺不辨人物 ハツヰカクテモ其人ト 明始復 日見ルヲ再 務持重

之 家族スルヲ 航海 兵ヲサケル元 使軍前 奉スル使 辭

氣ツコトバ 奉三宮 全氏ナリ 懿奉 帝 大后 謝氏 皇太后 手詔 天子

不克 成リケルナリガ 開督 州府ヲ督スルヲ 募 狷獫 獸ノケキ

不通 道筋 敵ノ兵ニ 邪セラ 大義 君臣ノ 粹至 不意ノ 処ヘ

肩輿 肩ガキノナリ 挺身 圍ヲオドリコ 頗自辨 祥アラク天

一 成 地方ノ 播越 天子外ニ 走ル義 儼然 正スト容 如治

朝 治平ノ 世ノ 重ナル 在行中 班行ナリ 參ノ 悽然 ガルナ 見シ 拭

涕 淚ヲフキ 調工役 臣山ニ 新宮ヲツクヘク 匠 忽遽 アレコ 心

吞惱子不死 酒ニアハ 附子ニシテ 毒 藥ナリ 熱

爭真偽 我ハ天 祥ニ死ヲ得ガ 今酒ニ 自到 冀各 釋其縛

保無他 別條ナキヲ 無如之何 方ドウナキ



附子之畫

改正... 卷之七 帝昺 五十一

一 甥韓世傑ノ甥ニメ韓ハ姓ナリ云義不可移君臣ノ名歴

數アマタル一 扞キ防ニ同ジテ留取丹心赤心ヲト汗

青紙墨ナシニ竹削リテ其青ミヲ取薄スレツクホト擿出

一 故ニ書籍ヲ焦汲道絶汲ハハクコリ茹乾糧クホシイヒ掬

手アゲル嘔ハハクヨリ薄スレツクホト擿出

度カク樂作音メ一 早潮ホドサノ檣旗シラノ旗キ

ル支度ヲナリ元ニ降知事去一 抽精兵強兵ヲ多ク兵

一 昏霧霧ヲリテ一面断維ナツキ合セタル船奪港而去

舟路ハ水中舟ヲ行ル道一 環結取カコ驅其妻子驅ハ海

ル天子ノ御印ナリ宋ノ歴代印ヲ製スアマタニシテ

用ヒズ二 受命宝封禪又礼神二 皇帝之宝王公勞問ニ用フ五二 皇帝

一 信宝王公ヲ召ス二 用フ六二天子行宝四夷ノ報書ニ出

一 大略唐ノ製二 同シカルベシ其外ニ三印アリ一 二 天下合

一 樞密院宣命等ニ之ヲ用フ三ヲ書詔之印ト云翰林院ノ詔

一 勅等ニ之ヲ用フイツレモ金印ナリ撫膺胸ヲナシテ艱關艱

一 流浪ス一 塊肉リ帝曷幼少ナク欲儀岸チセニツテ風マ存祀先

一 續スルヲ相以事宋者事今ニ宋ニツカヘテツクスル忠功ヲ轉

一 汝然レ涕ルノタ死有餘罪ニ死ストモ罪ヲ償フ一勵操誓ツテ心

一 忠義ヲハ爲國婚ト國王ノムコ國祚運命ノ靖康一年号徽

一 年ハル一驗証據ノア德祐一年号懿聖帝賈餘慶一 汴二抗

一 三閩四廣ハ太祖汴二都シ高宗ハ臨安二遷ル即千抗州端宗

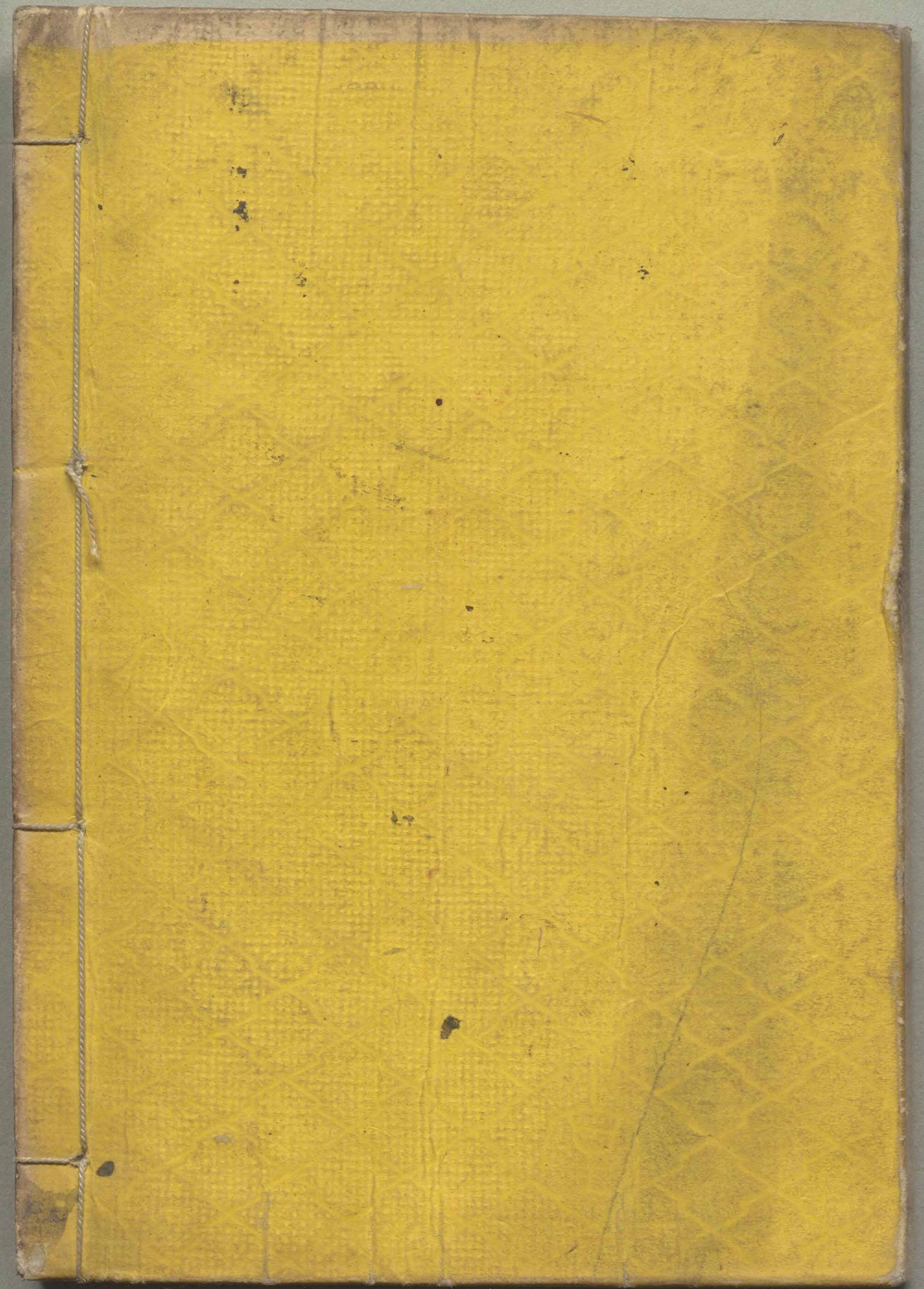
一 山二奔リ滅七二就ク

一 改正十八史略字類大全卷之七大尾

一 增補十八史略字類大全卷之七大尾

一 改正十八史略字類大全卷之七大尾

一 五十一

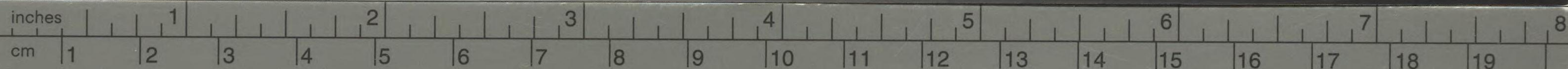


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



KODAK Color Control Patches

© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP127082B

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

